

第七十九回帝國議會 衆議院 郵便法中改正法律案外三件委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和十七年一月二十九日(木曜日)午後一時三十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 宮澤 裕君

理事一ノ瀨俊民君 理事清 寬君

理事増永 元也君 理事木槍三四郎君

羽田武嗣郎君 熊谷五右衛門君

信太儀右衛門君 高橋 義次君

田中 好君 春名 成章君

若宮 貞夫君 井上 良次君

中野 寅吉君 西岡竹次郎君

米窪 滿亮君

同月二十七日委員則元卯太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ山田六郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

逓信大臣 寺島 健君

鐵道大臣 八田 嘉明君

出席政府委員左ノ如シ

逓信次官 手島 榮君

逓信省郵務局長 遠藤 後一君

逓信省電務局長 中村 純一君

逓信省管理局長 景山 準吉君

逓信省工務局長 松前 重義君

貯金局長 伊勢谷次郎君

海務院部長 若林 清作君

海務院次部長 中尾國次郎君

鐵道次官 長崎惣之助君

鐵道省監督局長 佐藤 榮作君

鐵道省運輸局長 堀木 鎌三君

鐵道省建設局長 小林 紫朗君

鐵道省經理局長 平山 孝君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

郵便法中改正法律案(政府提出)

郵便貯金法中改正法律案(政府提出)

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

○宮澤委員長 開會致シマス、本日ハ先ヅ鐵道敷設法中改正法律案、地方鐵道補助法中改正法律案ノ二件ノ質疑ヲ行フコトニ致シマシテ、餘裕ガアリマシタナラバ、逓信省所管ニ移ツテ質疑ヲ繼續シタイト思ヒマス、成ベクハ本日本中ニ此ノ四法案ニ付テ大體ノ質疑ダケハ終了シタイト思ツテ居リマスカラ、出來マスレバ其ノ積リデ審議ヲシテ戴キタイト存ジマス——通告順ニ依ツテ質問ヲ許シマス——西岡竹次郎君

○西岡委員 公私極ク簡單ニ一、二ノ點ニ付キマシテ御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス、支那事變ガ起リマシテ以來、旅客ト云ハズ貨物ト云ハズ、全ク飽和状態ニナツテ居ル、寧ロ地獄状態トモ言ツテ宜イ程困難ヲ來シテ居ル、之ニ對シテ當局トサレマシテハ色々ナ御計畫ガアツクヤウデアリマス、例ヘバ俗ニ申シマス彈丸列車ノ如キモ此ノ狀

態ニ基イテノ御計畫デアツクラウト思ヒマス、所ガ十二月八日ヲ起點ト致シマシテ、是ハ政治、財政、凡ユル方面ニ於キマシテ、百年モ飛躍致シタヤウナ感ジデアリシ、又サウダト思ヒマス、東亞共榮圈ノ有スル所ノ凡ユル種類ノ物資ヲ持ツテ來ル、此ノ爲ニ今日叫バレテ居リマスノハ、一ニモ船腹、二ニモ船腹、先ヅ船腹ノ充實ニ全力ヲ傾倒スル政府ノ御方針ノヤウデアリマス、是ハ御尤モデアリマス、所ガ是ハ船腹ヲ持ツテ來マシタ所デ、港ニ積ンデ置ク譯ニハ行カナイ、ドウシテモソレノ場所ニ運ンデ、平和産業ナリ、或ハ重工業ナリデ之ヲ消化シナケレバナラス、是マデサヘモ前申シマス通りノ貨物、旅客ニ對スル状態デアリマシタノニ、今後非常ヲ飛躍ヲ致シテ、凡ユル物が參ツタ際ニ於キマシテ、鐵道當局ト致シマシテハ是マデノ御計畫ヲ變ヘラレマシテ、十二月八日ヲ轉機トシテ、飛躍のナ、雄大ナル構想ノ下ニ此ノ運輸ノ御計畫ヲナサラナケレバナラナイト思ヒマス、之ニ對シマシテドウ云フ風ナ御考ヘガアラレマスカ、今ノ彈丸列車ノ如キハ、前申シマス通り、是マデノ状態ニ於ケル御計畫デアツクノデスガ、兎ニ角百年ノ大計ヲ立テテ、千年ノ大計ヲ立テテ云フヤウナ意味ニ於キマスル何カ御考ヘナリヲ先ヅ承リタイト思ヒマス

付託議案  
郵便法中改正法律案(政府提出)  
(第四五號)  
郵便貯金法中改正法律案(政府提出)  
(第四六號)  
鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)  
(第四七號)  
地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)  
(第四八號)

○八田國務大臣 只今西岡委員ノ仰セノ通り、我が國有鐵道ヲ初メ國內ノ陸上輸送ノ問題ガ支那事變勃發以來驚クベキ其ノ數量ニ於テノ激増、而シテ之ニ對シマシテノ輸送力ヲ如何ニ確保シテ行クカト云フ問題ハ、御察シノ如ク、鐵道省トシマシテモ日夜苦心シテ參ツテ居ル點デアリマス、大東亞戰爭ノ勃發ニ伴ヒマシテ、茲ニ更ニ將來ニ向ツテノ新シキ情勢ニ對シテ考ヘテ見マサルト、國內ノ鐵道並ニ陸上ノ輸送ノ問題ハ、昨年ノ十二月八日ヲ契機トシマシテ、過去ヨリモ更ニ一段ノ重要性ヲ加ヘ、更ニ將來ニ向ツテ、輸送ノ量ニ於キマシテモ、又其ノ質ニ於キマシテモ、餘程今カラ之ニ對スル所ノ見透シヲ致シマシテ、是ガ萬全ノ策ヲ立テナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ鐵道省トシマシテハ、既ニ大東亞戰爭ノ勃發以前ニ於キマシテ、所謂大東亞共榮圈建設ノ爲ニ、大陸並ニ海洋方面ニ對シテ相當ノ目標ヲ立テテ、是ガ交通ノ整備ニ對シテ國策ノ示ス所ニ依リマシテ、色々ト考案ヲ練リ、又是ガ對策ヲ講ジテ參ツテ居ルノデアリマスルガ、此ノ大東亞戰爭ノ勃發ト共ニ其ノ戰果ノ著シキ速カナル進展ニ伴ヒマシテ、曾テハ豫想ニ過ギナカツタ其ノ目標ガ目前ニ如實ニ展開シテ參リマシタル以上、最モ速カニ此ノ大東亞交通全體ニ對シテノ計畫——是ハ政府ニ

於テ廣ク立テラレコトデアリマスルガ、此ノ全體ノ交通政策ニ順應シマシテ、國內ノ交通、殊ニ鐵道ノ問題ニ對シマシテ、鐵道省トシテハ目下其ノ研究ト對策トヲ既ニ練リツツアルヤウナ次第デアリマス、此ノ場合ニ特ニ豫想セラレマスルコトハ、今御話ノアリマシタ通り、海上ノ輸送ト陸上ノ輸送トガ唇齒輔車ト云フヨリモ、殆ド綜合的ニ一體トナツテ、緊密ナル連繫ヲ保ツテ、施設ノ最大效果ヲ擧ゲルヤウニ努メナケレバ、中々押寄セテ參リマスル所ノ大ナル輸送ニ對處スルコトガ出來ナイト考ヘマシテ、第一ニハ港灣トノ連繫ニ付テ考ヘテ居ル譯デアリマス、而シテ今モサウ云フ意味ノ御話ガゴザイマシタガ、過去ニ於キマシテハ、主ニ大陸トノ連繫ト云フコトデアリマシタガ、今後ハ海洋方面ニ廣ク目標ヲ置キマシテ、此ノ接續點等ニ付キマシテモ、自然今日考ヘテ居リマスルヨリモ、變ツタ新シキ觀點ニ於テノ地點ガ選バレテ來ルヤウナ場合モアルト考ヘマスカラ、ソレ等ノ大陸連繫ノ地點ニ向ツテ、國內ノ鐵道幹線ノ整備ト云フコトハ、勿論之ヲ致サナケレバナラヌト考ヘマス、サウシテ鐵道ノ整備ト共ニ、其ノ前後ニ於テノ小運送其ノ他ノ陸上交通ニ對シマシテ、一貫的ノ施設ヲ講ジタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

無用ノ長物ダト云フ考ヘガ一部ニアツタ、例ヘバ震災後ノ東京市ノ建設ノ如キニ致シマシテモ、今ノ一號道路ハ二號道路デアツタ、一部ニ反對ガアツテ、小サナ設備ヲシテ、今非常ニ困ツテ居ルト云フ過去ノ歴史モアリマス、今ヤ過去ニ於テ「アングロサクソン」民族ノ持ツテ居ツタ繁榮ヲ、吾々大和民族、「アジア」民族ガ今後之ヲ承ケ繼グト云フヤウナ状態ニナツテ居ル、先程モ御話シニナツタ大陸ハ別ト致シマシテ、海洋方面、所謂南方共榮圈ダケノ點ヲ申シマシテモ、英米カラ雜貨ダケニ致シマシテモ數十億ノ輸入ヲ致シテ居ツタ、是ハドウシテモ日本ガ取ツテ代ツテ供給シナケレバナラス、其ノ意味ニ於キマシテ所謂國防的重工業ノ充實擴大シテ行クト同時ニ、之ニ備ヘル爲ニ平和産業モ併セテ進メテ行カナケレバナラヌト思ツテ居リマス、ソレニハドウシテモ船腹バカリデナク、今仰シヤツタ通り、海陸相共ニ完全ナル準備ヲ早クシナケレバナラヌト思ツテ居リマス、其ノ意味カラ致シマシテ、豫算總會デ大臣ノ御答ヘニナツテ居リマシタ彈丸列車、廣軌鐵道、是モ資材ガ許セバ年限ヲ短縮出來ルカモ知レヌト云フ御話、サウ云フ生緩イコトヂヤイカヌノヂヤナイカ、今度政府當局ハ船腹ノ爲ニハ優先的ニ資材ヲ與ヘテ、サウシテ全力ヲ之ニ盡スト言ツテ居ラレマスカラ、是ト同ジ精神ノ下ニヤハリ鐵道ノ建設ト申シマスカ、之ニ對シマシテモ船同様に優先的ニ早ク御計畫ヲ御立テニナツテ着手ナサラナケレバナラナイ、十五年ノモノハ五年ニモ之ヲ短縮シナケレバ取返シノ付カナイヤウナ、國全體ト致シマシテ、チンバナ設備ニナリハシナイカト思ヒマスカラ、ドウゾ

其ノ積リデ御願ヒ致シタイト思ヒマス、就キマシテハ先ヅ現在ノ御計畫ノ點ニ付テダケ御尋ネ申上ゲマシテモ、彈丸列車ハ東京カラ下關マデニナツテ居ルガ、北九州ニ於ケル重工業ノ重要性ハ、是ハ私ガ申スマデモアリマセヌ、又南ノ方ニ延ビテ參リマシタ以上ハ先程大臣ノ御話ニナツタ港、所謂據點ト云フ點ニ對シマシテ、最短距離ニ在ル——鹿兒島ニ致シマシテモ、長崎ニ致シマシテモドチラデモソレハ國家ノ御決メニナル所デ宜シイガ、是ハ今マデトハ變ツタ觀點デ御覽ニナラナケレバナラス、取敢ズ此ノ大東亞戰爭勃發以前ノ御計畫ニアル所ノ彈丸列車ノ如キハ、更ニ九州ニ行ツテ南洋方面ノ日本ノ最短距離マデ御計畫ヲ至急ニ御進メナサルト云フ御考ヘハアリマセヌデセウカ、一寸御尋ネ致シマス

京下關間ノ新幹線ナルモノモ、私共ノ理想トシマシテハ、之ヲ海ヲ越エテ九州方面ニ延長スル、サウシテ新シイ幹線ノ其ノ效果ヲ彌ガ上ニモ發揮スルヤウニシタイト云フ理想ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、ト同時ニ新幹線ノ工期ヲ一日モ早く繰上ゲマシテ、サウシテ所期ノ目的ヲ達シタイ、斯ウ云フ理想ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、今回提案サレテ居リマス豫算ハ、最初ノ計畫ノヤウニ東京下關間ヲ十五箇年ノ工程ニ依ツテ計上サレテ居リマスガ、只今御話ノアリマシタ通り是ハ過去ノ計畫デアリマス、十七年度ハ其ノ計畫ニ依ツテ總テ立テラレテ居リマスガ、大東亞戰爭勃發並ニ其ノ戰果ノ非常ニ大ナルノニ鑑ミマシテ、是等ノ點ヲ含ミマシテ、我が國ノ鐵道全體ニ對シテ檢討致シテ參リタイト考ヘテ居リマス、其ノ機會ニ於キマシテ、只今西岡サンノ御述ベニナリマシタ御意見ハ、十分ニ其ノ資料ト致シマシテ考ヘテ參リタイト存ジテ居リマス

○西岡委員

大東亞戰爭勃發以來、是マデノ御計畫ノ上ニ、更ニ構想ヲ練ツテ居ラルルト云フコトデゴザイマス、是ハ當然ナコトト思ヒマスガ、今後ノ御研究、御準備ニ付テ私ノ希望致シマス點ハ、兎角從來ハ眼ノ前ノコトバカリヲヤツテ居ル、例ヘバ私共ノ記憶致シテ居リマス點ダケヲ申シマシテモ、京濱省線電車ガ出來タ時分ニ、是ハ

○八田國務大臣

交通機關運營ノ原則トシマシテ、出來ルダケ途中ニ於ケル隘路ト申シマスガ、一番輸送力ノ抑ヘラレテ居リマス所、ソレハドウ云フ所カト云フト、主ニ港ノ點ニアルト思フノデアリマス、即チ言ヒ換ヘレバ海ヲ越エル、船ニ依ツテ是ガ接續サレルト云フヤウナ地點ガ、主トシテ全體ノ交通機關ヲ持ツテ居リマス能力ヲ發揮スルノニ動モスルト隘路トナル所ノ點デアリマス、隨ヒマシテ原則トシマシテハ、鐵道ハ此ノ隘路ヲ排除シマシテ、陸下陸トヲ繋グト云フコトガ、其ノ本來ノ使命デアルト考ヘテ居リマス、ソレ故ニ御承知ノ如ク關門間ニアノ鐵道隧道ヲ設ケマシテ、サウシテ本土ト九州トノ現在ノ線路ノ連繫ヲ圖ツテ、近ク其ノ開通ヲ見ルニ至ツタ譯デアリマスガ、ソレト同ジ意味ニ於キマシテ、現在工事ニ着手致シマシタ東

○西岡委員

只今大臣カラノ御言明ヲ承リマシテ満足致シマス、ドウゾ一日モ早く具體化スルヤウニ御努力ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○長崎政府委員

只今西岡サンノ御質問ニ御答ヘ致シマス、關門「トンネル」ノ開通後、現在東海、山陽兩線ヲ走ツテ居リマス急行列車ヲ、九州ニ全部乗入レルカドウカト云フ御質問カト思ヒマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ、固ヨリサウアルベキモノ

ダト考ヘテ居リマス、私共ト致シマシテハ  
關門「トンネル」開通ノ曉ニハ、是非一ツ現  
在ノ山陽、東海兩線ニ走ツテ居ル急行ヲ九  
州ノソレノノ地點ニ向ツテ乗入レ運轉  
シ、丁度九州ガ從來ノヤウニ島ト云フ觀念  
デナク、本州ト一體ニナル、交通面カ  
ラ見マシタナラバ一體ニナルト云フコトニ  
致シタイト考ヘテ案ヲ立テテ居ツタノデア  
リ、マス、然ルニ其ノ後ノ日本ノ國情ハ、必ズ  
シモ旅客ノ便益ダケヲ考ヘテ居ツタノデハ  
イケナイト云フヤウナ色々ナ事情ガ出テ參  
リマシテ、是等ノ點ニ付テハ私カラ詳シク  
申上ゲルマデモナク、能ク御承知ノコトト  
存ジマス、爾來第一、第二ト云フ二ツノ案  
位ヲ考ヘマシテ、斯クナレバ斯クショウト云  
フコトデ考ヘテ參リマシタ所ガ、近時ニ至  
リマシテハ、更ニ生産擴充或ハ軍需資材ノ  
問題、色々ナ點カラ致シマシテ、貨物輸送  
第一主義ト云フコトデヤラナケレバナラス  
ト云フヤウナコトガ益々強ク要請サレテ來ル  
ヤウニナリマシタノデ、只今ニ於テハ先ツ  
貨物ヲ出來得ル限リ輸送スル、サウシテ其  
ノ間ヲ縫ツテ旅客列車ヲ運轉シ、オ客サン  
ノ便宜ヲ圖ラナケレバナラスト云フヤウナ  
情勢ニ立至ツテ居リマスガ、吾々ノ技術、  
吾々ノ考ヘ得ル局限ニ於テ一ツ急行列車ノ  
ヤウナモノハ、出來得ル限リ九州方面ニモ  
通シマシテ、旅客全體ノ便宜ヲ圖リタイト  
ハ考ヘテ居リマスガ、ハツキリト富士ハド  
ウ、櫻ハドウト云フヤウナコトヲ、今日申  
上ゲルマデノ域ニ達シテ居ナイノデアリマ  
スガ、サウ云フ心構ヘデ居ルト云フコトヲ  
一ツ御諒願ヒタイト存ジマス

○西岡委員 貨物、旅客共ニデスガ、其ノ  
場合ニ、鳥栖カラ肥前山口マデノ間ハ複線  
ヲヤツテ居リマスガ、ソレカラ先ノ複線ニ  
付キマシテ具體的ニ御着手ガナイヤウデス  
ガ、ソレハ現在ノ單線ノ儘デモ出來ルノデ  
セウカ、是モ亦今マデトハ違ツタ觀點カラ、  
御意見ヲ承ハラヌデモ、希望トシテ述ベテ  
モ宜シイノデゴザイマスガ、至急ニ具體化  
セラレマシテ、大東亞戰爭ニ依ツテ生ジタ  
日本ノ最短距離ノ重要性ニ鑑ミラレテ、至  
急ニ實現スルヤウニシテ戴キタイ、サウシ  
ナケレバ關門「トンネル」ガ開通致シマシテ  
モ、今御話ノヤウニ貨物、旅客ノ急行車ヲ  
オヤリニナルノニモ御不便デハナイカ、斯  
様ニ考ヘマス、ソレトモウ一ツ御尋ネシタ  
イコトハ、今ノ關門「トンネル」ガ開通致シ  
マスレバ、彈丸列車ガ行キマス場合、今度  
出來マスル「トンネル」デ間ニ合フノデス  
カ、ソレトモ又新タニ「トンネル」ヲ御造リ  
ニナラナケレバナラナイノデスカ

○長崎政府委員 第一ノ長崎本線ノ複線化  
ノ問題デアリマスルガ御説ノ通り鳥栖、肥前  
山口間ニハ現在複線計畫ガゴザイマシテ、  
豫算ニモ載ツテ居ルノデアリマス、ソレカ  
ラ先ノ複線ニ關シマシテハ、先程大臣カラ  
申上ゲマシタヤウニ、南方地域マデ日本ノ  
國威ガ擴充シテ參リマシタ今日、大東亞戰  
爭以後ノ進展ト云フコトニ伴フ國有鐵道並  
ニ日本ノ陸上交通全般ニ互ツテノ再檢討ト  
云フ場合ニハ、篤ト考ヘナケレバナラス問題  
ダト考ヘテ居リマス、ソレカラ俗ニ所謂彈  
丸列車ニ付キマシテハ、目下ノ所ハ東京下  
關間ノ計畫デゴザイマシテ、ソレカラ先ノ  
點ニ付テハ、實ハ其ノ計畫ヲマダ實際豫算  
化ハ致シテアリアセヌ、尙ホ先程大臣カラ  
申上ゲマシタガ、近ク開通致シマス、「トン  
ネル」ハ單線デゴザイマシテ、此ノ單線ハ

所謂彈丸列車ヲ通スヤウナ構造ニハナツテ  
居リマセヌ、是カラ第二期ノ計畫トシテ、  
モウ一本ノ豫算化中デゴザイマスガ、ソ  
レヲ建設致シマスニ付キマシテハ、彈丸列  
車ノコトヲ考ヘテ考慮ヲ進メテ行キタイト  
考ヘテ居リマス

○西岡委員 有難ウゴザイマシタ  
○宮澤委員長 ソレデハ次ニ通告順ニ依リ  
マシテ井上良次君  
○井上(良)委員 私此ノ際鐵道大臣及ビ運  
輸局長ニ伺ツテ置キタイ點ガ數點ゴザイマ  
スガ、先ツ第一ニ支那事變ガ勃發致シマシ  
テ、今日ノ大東亞戰爭ニ至リマスマデ、約  
五年間、國威ノ限リナキ發揚ニ伴ヒマシテ、  
軍民需ノ輸送能力ノ劃期的ナ増大、乘客ノ  
未曾有ノ氾濫、之ニ對處致シマシテ、鐵道  
當局ハ多數ノ熟練シタル職員從業員ヲ第一  
線ノ建設ニ送ツテ居リマスノニ、殘レル全  
從業員及ビ職員ヲ總動員致シマシテ、限ラ  
レタル資材、設備、勞力ヲ最大限ニ發揮致  
シマシテ、國鐵輸送ノ使命ヲ完遂シ來リマシ  
タ其ノ涙グマシイ努力ニ對シマシテハ、吾  
吾國民トシマシテ、厚ク感謝ノ意ヲ表シテ  
置キタイト存ジマス、特ニ大東亞戰爭ガ開  
始サレマシテカラハ、限リアル時間、限リ  
ナイ所ノ貨客ノ輸送、之ニ全力ヲ注ガレテ  
居リマス此ノ鐵道當局ニ對シマシテ、兎ヤ  
角質問ヲ申上ゲルト云フコトハ、何カ協力  
シナイヤウニ考ヘル人ガアルカモ知レマ  
セスケレドモ、更ニ一層其ノ能力ヲ倍加  
シ、一層國鐵ノ使命ヲ完遂スル爲ノ協力  
的ナ立場ニ於キマシテ、三質問ヲ致シタ  
イト思フノデアリマス、其ノ第一ハ國鐵  
輸送ノ見透シニ付テデアリマス、此ノ點ニ  
關シマシテハ既ニ豫算委員會或ハ本委員會

ニ於キマシテ、ソレノノ見地カラ當局ニ  
質問ヲサレテ居リマス、又當局者モソレノ  
ノ立場デ答辯ヲサレテ居ルヤウデゴザイマ  
スガ、私ノ考ヘテ居リマスノハ、限リアル  
資材、限リアル設備、限リアル勞力、之ヲ以  
テ鐵道當局ハ現在以上ノ輸送能力ヲ發揮ス  
ルコトハ困難デアルト考ヘテ居ルカ、ソレ  
トモ、マダ改良ヲ加ヘマスルナラバ更ニ一層  
能率ガ發揮出來ルト云フ見透シヲ持ツテ居  
リマセウカ、此ノ點ガ非常ニ重要デアリマ  
ス、戰爭ガ勃發致シマシテ國鐵ニ課セラレ  
マシタ使命ガ一層重大トナツテ來マシタ今  
日、私ガサウ云フ質問ヲ致シマス根本ニナ  
ツテ居ル疑問ハ、國鐵輸送ノ運轉時間ノ問  
題デアリマス、列車運轉時速ト云フモノガ、  
支那事變勃發前ト大東亞戰爭ガ起ツテ居リ  
マス今日ト同ジ歩調デ運轉サレテ居ルト云  
フコトデアリマス、貨物列車ノ運轉狀況ニ  
付テハ分リマセスケレドモ、旅客列車ヲ見  
マスルト、東京、大阪間ヲ走ツテ居リマス  
特急、普通急行ノ運轉時速ト云フモノガ依  
然トシテ十年一日ノ如クデアリマス、少シ  
モ改善サレテ居ラナイ、飛行機ト是ト比ベ  
ルト云フコトハワカシイ話デゴザイマスケ  
レドモ、今日飛行機ニ於キマシテハ、十年  
前ノ飛行機ノ速力ト今日ノ飛行機ノ速力ヲ  
比ベテ見マスト、二倍三倍ノ能率ヲ上ゲル  
飛行機ガ出來テ居リマス、然ルニ鐵道ダケ  
ガ十年一日ノ如ク同ジ時間ガ走ツテ居ルノ  
デスガ、是ハモツト短縮出來ナイモノデゴ  
ザイマセウカ、所謂最前私ガ言ヒマシタヤ  
ウニ、現在ノ設備ヲ以テシテ、現在ノ勞力  
ヲ以テシテ、現在ノ不足シテ居ル資材ヲ以  
テシテハ、是以上ノ能率「スピード」ヲ出スコ  
トハ出來ナイト云フノデゴザイマセウカ、

此ノ點ニ關スル當局ノ御所見ヲ伺ツテ置キ  
タイト思ヒマス

○八田國務大臣 一應私カラ御答ヘシマシ  
テ、尙ホ詳細ナコトハ政府委員ヨリ御答ヘ  
致シタイト思ヒマス、先ヅ最初ニ、井上委  
員ガ、支那事變勃發以來國有鐵道ノ從業員  
ガ、此ノ押寄セル所ノ厯大ナル輸送量ニ對  
シテ、動モスレバ其ノ施設或ハ勞務ノ件ハ  
ナイ場合ニ於テ、獻身ノ努力ヲシテ居ル、  
今日國家ノ交通機關トシテノ使命ヲ達成シ  
テ居ルト云フコトニ對シテ御述ベニナリマ  
シタコトニ對シマシテ私ハ謹ンデ感謝ノ意  
ヲ表スル次第デアリマス、次ニ國有鐵道ノ  
輸送力ノ將來ノ見透シ如何、斯ウ云フコト  
デアリマスガ、是ハ、只今ノ御質問ノ御趣  
旨ヲ察シテ御答ヘヲ致スノデアリマスガ、  
マダ我が國ノ現在ノ國有鐵道ノ施設ナルモ  
ノハ、之ニ改良ヲ加ヘレバ、尙ホ何割カノ  
輸送力ヲ増スコトガ出來ルト思ヒマス、其  
ノ最モ著シク效果ヲ舉ゲルモノハ複線或ハ  
複々線ト云フ線路ノ數ヲ既成線ニ沿ウテ増  
スコトデアリマス、隨テ之ニ伴ヒマシテ或  
ハ操車場或ハ停車場、サウシテ先程モ申上  
ガマシタ如ク、港等ノ海陸連絡ノ地點ニ於  
ケル所ノ、普通鐵道言ヘバ一番弱イ「ボツ  
トル・ネック」トデモ申シマスカ、サウ云  
フ所ニ當リマス點ガマダ多クアリマス、是  
ハ海ト陸トノ關係バカリデナシニ、陸上ニ  
於テモサウ云フ地點ガ多クアリマスノデ、  
此ノ點ヲ改善致シマスレバ、私ハ茲ニ相當  
ノ輸送力ヲ増スコトガ出來ルト信ジテ居リ  
マス、斯様ナ意味ニ於テ今同十七年度以降  
ノ豫算ニモサウ云フ點ヲ改良スベク主トシ  
テ計畫ガ立テラレテ居ルノデアリマス、若  
シ茲ニ吾々鐵道省ニ於テ希望スルガ如キ資

材ト其ノ他ノ事情ガ許サレルナラバ、此ノ  
輸送力ハ更ニ増大サレルト思フノデアリマ  
ス、併シナガラ事情ハ先程申上ゲマシタケ  
レドモ、色々ナ點カラ考ヘマシテ、今輸送  
力ヲ増加セント欲シテ而モ増加シ得ザルコ  
トガアルノデアリマス、此ノ點ハ目下ノ  
時局及ビ過去ノ實情洵ニ已ムヲ得ナカツタ  
モノト考ヘルノデアリマス、併シナガラ御  
質問ノ中ニモアリマシタ通り現在ノ設備ヲ  
以テ而モ輸送力ガ増セヌカ、斯ウ云フ積極  
的ノ御質問デアリマスレバ、此ノ點ニ付キ  
マシテハ先程感謝ノ意ヲ表シマシタ通り、  
物、施設、設備等ハ足りナイケレドモ、又  
人ノ力ニ依リマシテ、其ノ足ラザルヲ補フ  
コトガ出來ルト考ヘルノデアリマス、而シ  
テ其ノ人ノ力ト云フノハ何デアルカト申シ  
マスレバ訓練デアリ、又技術ノ力デアリマ  
ス、是ハ物ハ要ラヌノデアリマス、事變以  
來今日マデ鐵道省ガ努力、苦心ヲ致シテ參  
ツテ居ル點ハ、其ノアトニ述ベマシタル訓  
練ト精神的努力ト技術ノ向上デアリマス、

此ノ點ニ付キマシテハ今後ニ於キマシテモ、  
敢テ物ガ足りマセヌデモ、現在ノ設備ヲ以  
テ彌ガ上ニモ輸送力ヲ増強スルコトニ付キ  
マシテハ、屈セス撓マズ努力スル積リデア  
リマス、之ニ加ウルニ求メル所ノ資材等ガ  
與ヘラレルナラバ洵ニ幸ヒデアルト念願ヲ  
致シテ居ル次第デアリマス  
速度ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ申スマデ  
モナイコトデアリマスガ、軌幅ノ問題ニ非  
常ニ關係致スノデアリマス、我が國ノ鐵道ハ  
世界的ニ申セバ所謂狹軌デアリマス、現在ノ  
此ノ軌幅デハヨリ廣イ、普通廣軌ト云フモノニ  
比シマシテ到底速度ガ拮抗スルコトガ出來ナイ  
ノデアリマス、我が國ノ鐵道ハ永イ間ノ努

力ニ依リマシテ、殆ド其ノ大キサニ於キマ  
シテモ、速度ニ於キマシテモ、狹軌ナル軌  
幅ヲ相當超越シマシテ、廣軌ノ「スピード」  
ノ域ヲ摩シツツアルノデアリマスケレドモ、  
尙ホ軌幅ノ點ニ於テ及バナイ點ガドウシテ  
モアルノデアリマス、是レ故ニ東京・下關間  
ナル我が國輸送力ノ三割五分ヲ占メテ居リ  
マス此ノ難點ニ於テ居ル部分ダケニデモ「ス  
ピード」ヲ増大シマシテ、サウシテ此ノ點  
ヲ緩和致シタイト云フノガ、廣軌ニ依ル新幹  
線ノ提唱セラレタ所以デアアルノデアリマス、  
尙ホ此ノ速度ガモツト出セルカドウカト云  
フ點デアリマスガ、現在日本ノ國有鐵道デ  
使ツテ居ル機關車ハ狹軌トシテハ相當強力  
ナモノデアリマス、併シナガラ此ノ機關車  
ニ改善ヲ加ヘ、軌道其ノモノヲ強メルコ  
トニ依リマシテ速度ハ或ル程度増加シ得ル  
トハ思ヒマス、以上大體私カラ御答ヘ致シ  
マシテ、尙ホ足ラヌ點ハ政府委員カラ御答  
ヘ申上ゲマス

○井上(良)委員 政府ハ去ル一月カラ急行  
料金ヲ値上ゲシタ、寢臺料金ニ付テハ又後  
デ伺ヒマスガ、急行料金ヲ値上ゲシタト云  
フ意味ハ大衆ノ浮動購買力ヲ吸收スルコト云  
フ見地カラ行ハレタモノト考ヘテ居ルノデ  
アリマス、併シ國民ノ考ヘ方カラ行キマス  
ト、事實上値上ゲサレタノデスカラ、ソレ  
ダケ「スピード」ヲ上ゲテ貫ハナケレバナラ  
ヌ、距離ヲ短縮シテ貫ハナケレバナラヌ、  
料金ハ上ゲルダケ上ゲテ、列車ノ「スピー  
ド」ハチツトモ上ラナイ、ソシテ筒樺ナ話  
ハナイノデ、浮動購買力ノ吸收ト同時ニ、  
列車ノ實際運轉カラ考ヘマスストソコニ矛盾  
ヲ生ズル、國民ノ頭カラ考ヘルトソコニ割  
切レナイモノガ横タハツテ居ル、ココ等ハ

當局トシテ考ヘネバナラヌコトガラウト思  
ヒマス、次官ハ運輸局長ヲヤラレテ居ツタ  
カラ能ク御承知ノコトト存ジマスガ、吾々  
東海道ヲ旅行シテ居ツテ分ルコトハ普通急  
行デ約十時間掛カル、東京ヲ午後一時三十  
五分ニ出ル急行、大阪ヲ一時半ニ出ル急行  
ガアル、是デスト九時間半デ着クノデアリ  
マス、同ジ急行デアリナガラソコニ三分  
モ四十分モ開キガ出テ來ル、是ハドウ云フ  
譯カ、斯ウ云フ點ヲ考ヘテ見マスト十年一  
日ノ如キ「スピード」デアアル、コンナ氣ノ長イ  
コトハナイ、モウ少シ方法ト工夫ヲ考ヘタ  
ナラバ「スピード」ハモツト出ルト思ヒマス、  
此ノ點一ツ積極的ニ御對策ヲ練ツテ——是  
ハ大東亞戰爭下ノ今日非常ニ無理ナ註文カ  
モ分リマセヌガ、國鐵輸送ト云フ重大使命  
ヲ負ハサレテ居リマスノデ、責任アル對策  
ヲ一ツ立テラレルヤウニ御願ヒ致シタイ、  
之ニ對スル當局ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイ  
ノデアリマス

○堀本政府委員 現在ノ輸送力ト設備ノ關  
係ニ付キマシテハ、大臣カラ詳シク御説明  
申上ゲマシタノデ何等補足スル所ガナイト  
思ヒマス、殊ニ井上サシハ其ノ間ノ事情ニ  
付テ十分御同情ヲ御持チニナツテ、非常ナ  
ル御理解アル御言葉ヲ頂戴致シマシタノ  
デ、私共當面ノ責任者ト致シマシテモ洵ニ  
感謝ニ堪ヘナイ次第デアリマス、御承知ノ  
通りニ事變前ニ比較致シマスルト、旅客ニ  
於キマシテモ貨物ニ於キマシテモ倍ノ輸送  
量ヲ示シテ居リ、設備人員ニ於キマシテハ  
御承知ノ通りデ、毎年議會ニ提出シテ御協  
贊ヲ得テ居ル程度ノモノデゴザイマスカラ、  
ソレヲ御想像願ヒマス、私共國ノ輸送  
ニ責任ヲ持ツ者ト致シマシテ、場合ニ

依リマス、甚ダ現状ヲ以テシテハ満足出  
來ナイ責任ヲ痛感スルヤウナ事柄モ考ヘラ  
レルノデアリマス、併シ先程大臣ノ御話モ  
アリマシタヤウニ、出來ルダケノ努力ト熱  
心トサウシテ技術ノ向上ニ依リマシテ此ノ  
難局ヲ打開致シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ  
考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ關聯致シマ  
シテ、更ニ列車ノ運轉事務ニ付テ色々ト御  
話ガアツタノデアリマスガ、此ノ點ハ井上  
サンノ御考ヘカラ致シマシテモ、列車ノ運  
轉事務ヲ速度ヲ上げマスコトニ依ツテ輸送  
力ヲ増強シテ、サウシテ私共ニ此ノ時局ニ  
對應スル途ニ處セト云フ御考ヘガ、一番大  
キナ點デナカラウカト云フ風ニ私ハ考ヘル  
ノデアリマスガ、列車ノ運轉事務モ速度ヲ  
向上致シマスコトニ依ツテ、輸送力が増ス  
ト云フコトハ一應考ヘラレルノデアリマス、  
併シ是モ一概ニハ論斷出來ナイ問題デゴザ  
イマシテ、線路ノ狀態、列車ノ性質其ノ他  
カラ考慮致シマス、必ズシモソレニ依ツ  
テ輸送力ガ直チニ増加出來ルトモ考ヘラレ  
ナイ、却テ部分的ニ見マス時ニハ、輸送力  
ヲ調整致シマシテ、幾分「スピード」ヲ落ス  
コトニ依ツテ、輸送力ヲ増セルヤウナ場合  
モ多イノデゴザイマス、各國ノ例ヲ見マシ  
テモサウ云フ風ニ致シマシテ、兎モ角モ當  
面致シテ居リマス所ノ時局ヲ切抜ケテ居ル  
例ハ多々アルノデゴザイマス、無論私共ト  
致シマシテモ、現在ノ國民ノ方々ニ提供致  
シテ居リマス所ノ輸送力ガ、何トカ輸送事  
情ニ成ベク追付キタイト云フ考ヘデ、決シ  
テ現狀ニ満足シテ居ルノデハナイノデ、實  
ハ先程西岡サンノ御質問ノ時ニモ關聯シテ  
ノ御話モアツタノデゴザイマスガ、關門隧  
道ガ完成致シマス時ニハ、私共ト致シマシ

テハ多クノ旅客列車ヲ増發シタイ、先程次  
官カラモ申シマシタヤウニ増發致シタイ、  
サウシテ「スピード」モ向上致シタイ、斯ウ  
云フコトデ東海、山陽線ニ於テハ相當「スピ  
ド」ヲ上ゲル計畫スラアツタノデアリマス  
ガ、現下ノ情勢デハソレニ對應シマスル諸  
施設ト云フモノガ、資材の觀點カラモ財政  
的觀點カラモ、色々ト考慮ヲ致サナケレバ  
ナラナイノデ、今回ハソコマデ參ル譯ニ行  
カナカツタノデアリマス、尙ホ國民負擔ノ問  
題カラ急行料金ニ付キマシテ、最近ノ戰時  
財政ノ強化、浮動購買力ノ吸收ト云フヤウ  
ナ觀點カラ運賃、料金其ノ他ヲ値上スルコ  
トニ決定致シマシテ、本年カラ急行、寢臺  
料金ニ付テモ値上ラシテ居ルノデアリマ  
ス、此ノ點カラ見マスルト實際御利用ニナ  
ル方々カラ言ヒマスルナラバ、料金ヲ上げ  
タダケ實際ニ提供スル品質ノ良イコトヲ御希  
望ナサレコトハ、又當然ノコトカトモ考ヘル  
ノデアリマスガ、併シナガラ、今申上ゲマシ  
タヤウナ事情ガアリマスノデ、私共ノ提供シ  
テ居ル「サーヴィス」ヲ、私共自身デモ皆サン  
利用スル側ノ御希望ヲ十分ニ考慮ニ入レ、何  
トカ之ニ追付キタイト云フ希望ヲ持チナガ  
ラ、出來ナイノハ、時局柄已ムヲ得ザル處置  
トシテ、御諒承ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマ  
ス、尙ホ個々ノ列車事務ニ付キマシテハ、今ノ  
列車事務ヲ御當リニナリマス、線區ニ依  
ツテ又部分的ニ見マス、場所的ニモ「スピ  
ード」ガ色々異ツテ居ル所モアリマス、  
是ハ列車ヲ編成致シマシタ沿革ヤ歴史ノ關  
係其ノ他ノ設備、色々ナ條件ガ入ツテ居ル  
譯デアリマス、斯ウ云フ問題ニ付キマシテ  
モ、私共ト致シマシテハ其ノ時ノ、御  
承知ノ通りニ二重ノ線路或ハ一重ノ線路ノ

上ヲ走ツテ居リマス列車ヲ、ソレダケ切離  
スコトハ出來ナイノデアリマシテ、一ツノ  
列車ガ全部「ダイヤ」ニ關係ガアル、サウ云  
フコトト更ニ設備ノ關係モ考ヘナケレバナ  
ラヌ、斯ウ云フコトデ必ズシモ皆整然トシ  
テ居ルトハ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、  
成ベク部分的修正ハ時刻改正ノ都度ヤツテ  
參ツテ居ルノデアリマス

ナケレバナラヌコトニナツタノデ、此ノ國  
民勤勞報國隊ノ義務制ヲ利用致シマシテ、  
サウシテ國鐵ノ建設ニ協力願フト云フ手ガ  
アルノデアリマス、是デヤリマスレバ隣ク  
間ニ大體ニ於テ勞力ノ方面ハ行ケルノデア  
リマス、ソレデアアルカラ問題ハ物資ト之ヲ  
扱フ所ノ技術者ノ問題ガ起ツテ來マスガ、  
サウ云フモノニ對スル見透シハドウ云フコ  
トニナツテ居ルカ何ツテ置キタイノデアリ  
マス、ソレカラ此ノ建設ニ今申シマシタ義  
務ニナツタ國民勤勞報國隊ノ活動ヲ求メタ  
方ガ宜イ、サウシテ速カニ之ヲ完成スルコ  
トガ、日本ハ大東亞戰爭ヲヤツテ居ルケレ  
ドモ、斯クノ如キ大規模ノ鐵道敷設工事ヲ  
完成シタト云フ底力ヲ中外ニ示スコトノ出  
來ルコトハ、外國ニ對スル一ツノ大キナ示  
威運動ニモナル、之ヲ是非完成スルコトハ  
銃後ノ國民モ熱望シテ居ルシ、又サウスル  
コトガ日本ノ底力ヲ世界ニ示ス大キナ示威  
ニナルト思ヒマスカラ、是非斷行シテ戴キ  
タイト思ヒマスガ、此ノ二點ニ付テ何ツテ  
置キタイト思ヒマス

第六類第八號 郵便法中改正法律案外三件委員會議錄 第四回 昭和十七年一月二十九日

上ヲ走ツテ居リマス列車ヲ、ソレダケ切離  
スコトハ出來ナイノデアリマシテ、一ツノ  
列車ガ全部「ダイヤ」ニ關係ガアル、サウ云  
フコトト更ニ設備ノ關係モ考ヘナケレバナ  
ラヌ、斯ウ云フコトデ必ズシモ皆整然トシ  
テ居ルトハ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、  
成ベク部分的修正ハ時刻改正ノ都度ヤツテ  
參ツテ居ルノデアリマス

○井上(良)委員 マダ數點質問ヲ致スノデ  
スカラ、政府當局モ御親切ナ御答辯ハ結構  
ダスケレドモ、出來ルダケ簡潔ニ御願ヒシ  
タイト思ヒマス、私モ簡潔ニ質問ヲ致シマ  
ス、其ノ次ハ度々問題ニナツテ居リマス廣  
軌ニ依ル東京、下關間ノ高速度列車ノ問題  
デアリマスガ、之ヲ今日ノ時局上、殊ニ大  
東亞戰爭ガ勃發致シマシタ情勢ニ當面致シ  
マシテ、急速ニ完成年度ヲ繰上ゲルト云フ  
コトハ、國民一般ノ非常ニ熱望スル所デア  
リマス、之ニ付キマシテハ御承知ノ通り資  
材、勞力、中々思フヤウニナラナイ時デア  
リマスケレドモ、國鐵ト云フ重大ナ輸送使  
命ヲ持ツテ居リマス見地カラ考ヘマスナラ  
バ、何ハ措イテモ是ハ全力ヲ擧ゲテ、國民  
協力ノ下ニ完成スルコトガ必要デハナイカ  
ト考ヘマス、ソコデ具體的ニ申シマス  
是ノ建設物資ニ對スル見透シハ大體付イテ  
居ルカ、ソレカラ原料勞力デアリマスガ、勿  
論專門の勞力ノ方面ハ、是ハサウ贅澤ニ言  
ヒマシテモサウ動員ハ出來マセスケレドモ、  
專門の技術者ノ指導ニ依ル一般的ナ勞  
力、是ハ幸ヒニシテ國民勤勞報國隊ノ見地カ  
ラ、愈々勅令デ以テ國民勤勞報國隊ト云フノ  
ガ結成サレルトコトニナリ、國民ハ是ガ義務  
制ヲ負ハサレタノデアリマス、一年間必ズ  
一箇月デスカ、國家ノ命ズル勤勞ニ報國シ

○小林(紫)政府委員 只今御話ノ幹線ノ竣  
功期ヲ繰上ゲテ之ヲ急速ニ實施致スト云フ  
問題デアリマスルガ、現在ノ計畫ハ先程大  
臣カラモ御話ガアリマシタヤウニ、十五年  
計畫デ今年度ハ進んで參ツタノデアリマス、  
物資ト勞力ニ付テノ見透シト云フ問題デア  
リマスルガ、只今ノ情勢デ行キマスルト、  
來年度再來年度位ハ、サウ非常ニ多クヲ望  
ンデ物資ヲ之ニ注込ムト云フコトガ非常ニ  
困難ナヤウナ狀況デアリマス、隨ヒマシテ  
吾々ノ計畫ト致シマシテハ、最初ノ數年ハ  
成ベク物資ヲ使ハナイデ工事ヲ進行サセテ  
行ク、ト言ヒマスルコトハ詰リ最モ年限ノ

掛リマスル土工工事ニ全力ヲ擧ゲマシテ、特ニ期間ヲ支配スル大工事ガ各所ニゴザイマスルガ、サウ云フモノカラ先ニ着手致ス、例ヘバ丹那「トシネル」ト云フヤウナモノガ全體ノ工期ヲ支配致シマスルノデ、之ヲ先ツ眞先ニ着手致シテ既ニ工事中デアリマス、ドウ云フ風ニ勞力ノ必要ガ起ルカト申シマスルト、大體十五箇年計畫ノ時ニ毎年々々ドノ位要ルカト云フ見當ハ付ケテアルノデアリマス、ソレニ依リマス、先ヅ十八年度ニ於キマシテハ、大體一日平均一万人見當ト云フコト行ツテ居ルノデアリマス、物資ノ方カラ申シマスルト、物資ハ先程申シマシタヤウニココ、二年成べく使ハナイデ、尙ホ而モ竣功期ニ影響ノナイヤウニ土工工事ヲ取敢ズ進メテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○井上(良)委員 サウスルトは十五年ヲ短縮スル、完成年度ヲ繰上ゲルト云フ豫定ハ今ノ所ゴザイマセヌカ、ソレカラハ、單ニ鐵道省ガ鐵道省所管ノ仕事トシテヤルヨリモ、厚生省或ハ又農林省其ノ他ノ關係各省ト綜合的ニ協議ヲ遂ゲラレテ、統後國民ノ大キナ國家的建設事業トシテ、之ヲ國民ニ呼掛ケル、今ノ御話ニ依ルト十八年度ニ於テ一日一万人ニシカ付カス、一箇月三十万人ニシカ付カナイ土工工事ヲヤル、線路工事ヲ先ヅヤリマスタラバ、最初ハ物資ハ餘計要ラナイト云フ見透シデゴザイマスルガ、ソレナラバモツト動員ガ出來ルノデアリマス、鐵道省ハ鐵道ト云フ輸送機關ヲ持ツテ居リマスカラ、臨時列車デ丁度才伊勢詣リヲヤル時ノヤウニ全國カラ勤勞奉仕隊ヲ輸送シテ來テ、サウシテ活動シテ貰フ、又鐵道ヲ御歸リヲ願フ、斯ウ云フ洵ニ便利ナ

機關ヲ持ツテ居リマスカラ、全國國民ニ之ヲ呼掛ケテ、統後國民ノ國家的ナ大キナ建設事業デアルト云フコトデヤラレルコトガ、國民ノ士氣ヲ昂メル上ニ、或ハ又前線將士ニ對スル感謝ノ念ヲ此ノ建設ノ汗ノ中ニ生ミ出ス上カラモ、生キタ勤勞報國ノ精神ヲ昂メル上カラモ、非常ニ必要ナコトデアリマス、ソレニ、單ニ鐵道省ノ關係ノ之ヲ考ヘズ、厚生省其ノ他關係各省綜合的ナ一ツノ問題ニ取上ゲテ、完成ノ年度ヲ繰上ゲテヤツテ貫ヒタイと思ヒマスガ、繰上ゲル御意思ガアリヤ否ヤト云フコトヲ此ノ際伺ツテ置キタイと思ヒマス

○八田國務大臣 只今ノ井上サンノ線路ヲ一日モ早クヤルヤウニシタラドウカト云フ御意見ニ付キマシテハ、洵ニ國家トシテ望ム所デアリマス、鐵道省ニ於キマシテモ、今建設局長カラ述ベマシタヤウニ、今日ノ事態ニ於キマシテ最も有効的ナ資材勞力ノ配分方ヲ考ヘマシテ、只今申述ベタヤウナ案ガ立ツテ居ルノデアリマスルガ、是ハ鐵道ガ考ヘデハナイノデアリマシテ、今日ハ申上ゲルマデモナク國家全體ノ資材、勞務ト云フモノガソレ、其ノ順序ニ依リマシテ配分サレテ、サウシテ其ノ配分サレタモノヲ最も有効ニ使ツテ行クト云フノガ今日ノ國家的ノ計畫ニナツテ居リマス、鐵道ハ鐵道ガデ單獨ニ外ノコトヲ無視シテ此ノ案ヲ立ツテ居ルノデアリマセヌ、若シ鐵道ヲシテ自由ニヤラセラバ、モツト實ハ望ム計畫ガ別ニアルと思ヒマスケレドモ、他ノ全體、厚生省其ノ他商工省等、廣ク資材、勞務ノコトヲ考ヘマシテ、國家的ニ之ヲ考ヘテ居ルノデ、今日ニ於キマシテハ此ノ豫算ニ提案シテアル此ノ範圍

ヲ出デナイノデアリマス、併シ今後ニ於キマシテハ、事態ノ變化ニ應ジマシテ十分只今ノ御希望ニ副フヤウニナリマスルコトヲ、勿論鐵道省ニ於キマシテモ心カラ希望シテ居ルノデアリマス、一言私カラ御答ヘ申上ゲテ置キマス

○井上(良)委員 次ニ貨物運賃ノ問題デゴザイマスガ、大東亞戰爭ガ勃發致シマシテカラ、將來ノ我が國ノ工業ノ状態ヲ考ヘテ見マス、從來ノ原料工業ト云ヒマスガ、粗工業ト云ヒマスガ、斯ウ云フ工業カラ、精製工業、加工工業ト云フモノニ日本ノ工業形態ガ飛躍的ニ進展シテ行クト思ヒマス、即チ原料ヲ外地カラ輸入致シマシテ、之ヲ國內ノ勞力ニ依ツテ加工シテ精製品トシテ再ビ海外ニ輸出スルト云フコト、此ノ關係ガ非常ニ高度化サレテ來ルト思ヒマスガ、物資ノ輸送ヲ受持チマス鐵道ノ運賃ニ付テ將來ト云フ見透シノ上ニ考ヘラレテ居ルカ、日本ノ物資生産「コスト」ヲ見テ居リマス、其ノ中デ一番大キナ部分ヲ占メマスノハ運賃デアリマス、運賃ガ一番高イ、ソコデ此ノ運賃ノ收入ノ状態ヲ鐵道省ニ付テ調べテ見マス、最近ノ貨物ノ輸送ハ非常ナモノデアリマシテ、非常ニ黒字ノ状態ヲ續ケテ居ル、鐵道全體カラ言ヒマシテモ、毎年數億圓ノ金ヲ一般會計ノ方ニ繰入レテ居ル、軍事費ノ方ニ繰込メデ居ル、勿論此ノ軍事費モ大事デアリマスガ、出來ルダケ澤山ノ品物ヲ造ラセルト云フ見地カラ考ヘマスタラバ、生産力ヲ増強スルト云フ見地カラ運賃ト云フモノニ付テモ、出來ルダケ再檢討ヲ加ヘテ見テ、合理化出來ルモノハ成ベク合理化シテ運賃ニ依ツテ生産ヲヤラセ

運賃ニ付テノ見透シ、是ハ値上ラスル積リカ、私ハ引下ゲル必要ガアルト思ヒマスガ、此ノ點ニ對スル御考ヘヲ承ツテ置キタイと思ヒマス

○長崎政府委員 貨物運賃ノ御話ト思ヒマスガ、貨物運賃ガ生産原價ノ非常ニ大キナ部分ヲ占メテ居ルノダト云フ御話デアリマスガ、今井上サンノ御述ベニナリマシタ精密機械ト云フヤウナ精製品カラ見マス、之ヲ大觀シマシテ、私ハ鐵道ノ運賃ト云フモノハサウ大シク割合ヲ占メテ居ナイデハナイカ、却テ原料品ノ方ニハ相當ニ運賃割合ガ高クナツテ居ルノデハナイカト思ヒマス、尙ホ運賃ニ引續キマシテ、鐵道財政トノ關聯ニ於テ運賃ヲ將來ドウスル積リカト云フ御話デゴザイマシタガ、之ニ付キマシテハ、尙ホ能ク研究ヲ致サナケレバナリマセヌケレドモ、世間往々ニシテ、鐵道ノ運賃收入ガ前年度ニ比シテ増加致シタコトヲ見テ黒字々々ト申スノデアリマス、所ガ是ハ私カラ申上ゲルマデモナク、運賃收入ガ餘計ニナルト云フコトハ、結局輸送數量ガ増加スル、輸送數量ガ増加スレバ石炭ガ餘計要ルト云フコトニナルノデアリマシテ、ヤハリ掛ルモノノ方モ餘計要ルノデアリマス、ソレヲ御考ヘニナラズニ、收入ノ増加ノ方ダケ御考ヘニナリマス、ソレカラソレニト仰シタルノデアリマス、ソレカラソレニ引續イテ、一般會計其ノ他臨時軍事費等ニモ繰入レテ居ルデハナイカ、ソレモ儲ケテ居ルカラダラウ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、是ハ昭和十五年度ノ決算或ハ昨年度當議會ノ協賛ヲ經マシタ豫算等ヲ御覽下サイマシテモ御分リニナリマスヤウニ、決シテ儲ケテバカリ居ルノデハナク、

建設、改良其ノ他ノ爲ニ十五年度ハ四千万

圓近イ公債ヲ發行致シテ居リマス、十六年

度ノ豫算ニ於キマシテモ、當議會ノ協賛ヲ

經マシテ豫算ハ、四千五百萬圓ノ公債、

借金ヲ致ス計畫ニナツテ居リマス、今年度

只今御協賛ヲ御願ヒシテアリマスル豫算

ニ於キマシテモ、ヤハリ四千五百萬圓ノ借

金ヲ致シテ行カナケレバナラヌト云フヤ

ウナコトニナツテ居リマス、更ニ貨物運

賃ニ付キマシテハ、井上サシノ御承知ノ

ヤウニ、昭和十五年度ニ於テ年額ニ致シマ

シテ約三千万圓ノ貨物運賃値下ヲ致シテ居

リマス、將來此ノ値下ヲスベキカドウカト

云フコトニ付キマシテハ、鐵道財政ノ話ハ

長クナルノ止メマサガ、全般的ナ貨物運

賃ノ大幅ノ値下ノ餘地ハナイト思ヒマス、

唯併シ御話ノヤウニ、新興工業トカ、或ハ

生産擴充ノ見地カラ個々ノ貨物ニ付テ割引

ヲスル、或ハ不要不急ノ物品ノ輸送抑制ノ

爲ニ値上ヲシテ、抑制ヲ圖ルト云フヤウナ、

個々ノ貨物運賃ノ改正改善、値上或ハ値下

ト云フコトニ付テハ、十分其ノ當時ノ經濟

情勢ナリ或ハ國策ノ趨ク所ヲ見マシテ、之

ニ順應シテ参リタイト考ヘテ居リマス

○井上(良)委員 次ニ貨物ノ積卸ノ勞力其

ノ他ノ問題デゴザイマスガ、昨年カ一昨年、

私決算委員會デ長崎次官ニ伺ツテ希望ヲ申

上テ置イタノデアリマスガ、依然トシテ

ヲ伺ヒタイノデアリマス

ソレカラモウ一ツハ、寢臺料金ヲ引上ゲ

タノデアリマスガ、是モ浮動購買力吸收ノ

見地カラ引上グララト思フ、所ガ今度ノ

寢臺料金ノ値上ハ幅方廣イヤウデスガ、ド

ウ云フ根據ニ立ツテアレダケノ値上ヲサレ

タノデセウカ、宿屋ヘ一晚泊ツテモアンナ

ニ高クハナイ、ソレニモツト待遇ガ好イデ

スヨ、モツト温イ蒲團デ火モチヤント入レ

テ呉レテ「サーヴィス」モ好イガ、アノ二等

ノ寢臺ナドト云フモノハ筥棒ナ値デアル、

二等ニ乗ル位ノオ客ダカラ金ヲ持ツテ居ル

カラ、其ノ懐ロヲ狙ハレタノデアラウガ、

鐵道本來ノ使命デアル輸送力ヲ出來ルダケ

増大スルト云フ見地カラスレバ、此ノ際サ

ウ云フ姑息ナ値上ハ止メテシマヒ、寢臺車

ナドハ廢メテシマフガ宜イ、一方三等寢臺

ヲ全部ナクシテシマツタ、三等ノ客ハ寢臺

デ寢ナイデ東京カラ下關マデ行ツテ宜イ

ガ、二等ノ客ハ寢臺ニ寢ナケレバナラヌト

云フ考ヘ方ハ一體何處カラ出テ來ルノデス

カ、輸送力増大ノ見地カラスレバ寢臺車ナ

ドハ全廢スベキデアル、値上ト輸送力ト云

フ問題ニ喰違ヒラ來シテハ居リマセヌカ、三

等寢臺車ヲ廢メテ二等寢臺車ヲ置クト云フ

ノハドウ云フ譯デアアルカ、二等ハ混雜シナ

イトデモ考ヘテ居ラレノカ、此ノ頃私共

乗ツテ見テモ二等ノ方ガヨウ混ソデ居ル、

積込積卸ノ點、是ハ多分單ニ汽車ノ積込、

積卸ダケデナク一般的ニ汽車運ソデ來

タ荷物ヲ自宅、或ハ店ヘマデノ輸送ノ御話

デハナイカト考ヘマス、若シ間違ツテ居レ

バ訂正致シマスガ、積込、積卸ソレ自體ダ

ケナラバ、御説ノ通り小口貨物が相當多ク

ナツテ來マシタノデ一時是ノ取扱ニ非常ニ

困難致シタコトモアリマス、之ニ付キマシ

テハ漸次機械的設備ヲスルトカ、或ハ取扱

ノ人手ヲ殖ヤスコトヲ考ヘ、同時ニ段々配

給統制物資ニ係ル荷物ガ多クナリマシタノ

デ、ソレト兩々相俟ツテ國有鐵道トシテモ、

小口貨物ノ非常ニ多クナルコトハ「コスト」

ノ上カラ申シマシテモ、又取扱ノ困難ト云

フコトカラ見マシテモ、成ベク之ヲ大口ノ

モノニ取纏メタイト思ツテ居リマシタ所、

國全體ノ物資配給ノ上カラモヤハリサウ云

フ風ニシタ方ガ宜イト云フコトデ、兩々相

俟ツテ、商工、農林其ノ他關係ノ經濟省ト

能ク話シマシテ、之ヲ計畫的ニ輸送ガ出來

ルヤウニ、大口ニ取纏メテ行クト云フ方向

ニ進ンデ参リマシタノデ、小口ノ積卸ニ付

テハ、尙ホ萬全デハゴザイマセヌガ一時ヨ

リハ餘程業ニナリマシタ、ソレカラ更ニ小

運送所謂鐵道カラ戸口マデ、戸口カラ鐵道

ヘト云フ輸送ニ付キマシテハ、小口小運送

ノ業務ニ付テ其ノ經營ヲ合理化スルトカ、

或ハ其ノ經營ノヤリ方、作業ノヤリ方ヲ集

シタノデ、到底唯單純ナル協力ト云フコトデ

ハイケナイト考ヘマシテ、之ヲ一元的ニマ

デ統制致シマシタ、其ノ結果、マダ十分デ

ハゴザイマセヌガ、兎モ角モ此ノ年越ニハ

先ツ差支ヘナイ結果ヲ見タ次第デアリマス、

サウ云フヤウナ結果ヲ見マシタノデ、今後

ニ付テモ全國ノ重要ナル都市ニ對シテソレ

ト同ジヤウナ方法ヲ採ツテ参リタイト思ツ

テ、只今折角其ノコトヲ實現シヨウトシ

テ努力致シテ居リマス、其ノ結果ハ必ズ

ヤ假スニ時日ヲ以テスレバ旨ク行クト考

ヘテ居リマス、ソレカラ寢臺ノ値上ヲシ

タガ、非常ニ大幅ノ値上デ、ドウモ宿

屋ヘ泊ツテモアンナコトデハナイト云フコ

トデゴザイマス、是ハ成程割合ニスルト相

當ノ値上ニナツテ現ハレテ参リマスガ、ア

ノ中ヲ割ツテ見マス、寢臺料金ト通行稅

ノ部分ガゴザイマス、寢臺料金ノ方ハサウ

澤山上ツテ居リマセヌガ、税金ノ方ハ相當

上リマシタノデ、サウ云フ風ナ御感ジナ

サルノヂヤナイカト思ヒマス、ソレカラ三

等寢臺ハ止メテ居ルノダガ、二等ハドウ云

フ譯デ置イテオクノダ、輸送力ノ見地カラ

スルナラバ、全廢シタ方ガ宜イヂヤナイカ

ト云フコトデアリマスガ、是ハ御尤モテ御

説デアリマス、唯遺憾ナガラ寢臺車ヲ取り

マシテモ、直チニソレガ輸送力ノ増強ニナ

ラスト云フコトハ、アノ寢臺車ニ代ルベキ

車ガナイノデアリマス、ソレ直グニハ輸

送力ノ増強ニナリマセヌ、ソレカラモウ一

ツ實際ノ問題トシテ、三等ノ人ハ寢ナクテ

モ宜イノカト云フ仰セ成程御尤モデゴザイ

マスガ、寢臺車カ何カナケレバ相當ノ御年

輩ノ國家有用ノ人材ノ方ガ、而モ非常ニ御

忙シク、晝ハ甲地デ御働キニナリ夜ハ汽車

デ驅ケ付ケラレマシテ又乙地デ御働キニナルト云フヤウナ方ノ御便利モ考ヘテ置カナケレバナリマセヌノデ、寢臺車ヲ全廢スルト云フヤウナコトハシテハイカヌノデヤナイカト思ツテ居リマス、ケレドモ事態ガ尙ホ一層非常ナ事態ニナレバ、是ハ已ムヲ得ナイカトモ考ヘテ居リマスガ、今日ノ事態ヲ以テ相當ノ國家有用ノ人材ノ方々ノ、サウ云フ風ヲ御活動ノ御便利ヲ圖リマスコトモ、是亦國策トシテ已ムヲ得ナイデヤナイカト考ヘテ、二等寢臺ハ其ノ儘置イテオイタ次第デアリマス

○井上(良)委員 大阪驛ノ外装工事ニ付テデアリマスガ、大阪驛ハ丁度建設途中ニ於テ事變ガ起リマシタ關係上、全體ノ工事ノ完成ヲ見ズニ中途半端デアレヲ中止シテ居リマス、アレハ御覽ノ通り大阪ノ玄關口デゴザイマシテ、外國ノ人ガ出入リスル關係上、アレヲ簡單ナ外装デモ致シマスナラバ驛ノ體裁モ非常ニ宜シイシ、アレ位ノコトガ出來ナイカト云フヤウナコトデハ、日本ノ國力ニモ關スル信用ノ問題ダト思ヒマス、此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマス、ソレカラ西成線ト東成線ガ別々ニ運轉サレテ居リマス、今此處ハ電化サレテ、殊ニ朝夕ノ「ラッシュアワー」ニハ、アノ狭イ「ホーム」ガ乗換ノ爲ニ非常ニ混雜スル、之ヲ天王寺驛カラ櫻島マデ直通運轉ニシタナラバ、ドレ程アノ方面ノ乘客ガ助カカモ知レマセヌガ、之ニ改善ヲ加ヘル必要ハナイカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ、次ハ從業員ノ待遇問題ニ付テ伺ヒタイ、鐵道省ノ模様ヲ伺ツテ見ルト、昭和六年以降ニ就職シタ職員ニハ退職手當ヲ給與シナイト云フ話デアルガ、是ハ事實デゴザイマセウカ、ソレ

以前ニ入ツタ人ハ退職手當ガ載ケルサウデアアルガ、ソレ以後ノ人ニハ、色々ノ名目デ多少ノ金ヲ出スヤウニハナツテ居ルサウデアアルガ、成規ノ退職手當金ハ渡サナイト云フコトデアリマス

ソレカラ鐵道省本省及ビ地方鐵道局ニ於テ、私立大學出或ハ專門學校出ノ人ニ局課長ハ榮達ノ途ヲ開イテ居ラレルカドウカ、若シ開イテ居ラレルトスレバ、現在サウ云フ人デ局課長ニナツテ居ル人ガアリマセウカ、色々調ベテ見ルト、ドウモサウ云フコトガナイヤウデアリマシテ、鐵道省ニハ鐵道省ト云フ團體ガアツテ、此ノ鐵道省ガ鐵道省ノ最高人事ヲ動かシテ居ルト云フヤウナ噂ガ非常ニ強イ、最前ノ大臣ノ御話ノ如ク、此ノ時局下ニ於テ限ラレタ資材努力ヲ以テ國鐵輸送ノ最高能率ヲ上ゲル爲ニハ、從業員ノ心構、全鐵道職員ノ訓練ガ最モ必要デ、其ノ爲ノ鐵道ノ大家族主義ト云フコトヲ常ニ唱ヘラレテ居リマスガ、其ノ見地カラスルト、是等ノ諸問題ハドウシテモ速カニ解決シナケレバナラヌコトデアアル、而モ一方ニ於テハ勤勉「パス」ト云フカ、家族ニ與ヘラレテ居ツタ「パス」ハ取上ゲラレテ居ル、是ハ時局柄ヤラシタコトデアラウト思ヒマスガ、一方ニ於テハ一生懸命ニ働カセルト共ニ、一方ニ於テハ新シイ慰安ヲ與ヘテ行カケレバ次ノ能率ハ上ラナイ、サウ云フ見地カラ考ヘテモ、勤勉「パス」ノ問題ニ付テモ、之ヲ考慮シテヤル必要ガアリハシナイカ、ソレカラ人事異動ヲ餘リ頻繁ニ行ヒ過ギテ居リハセヌカ、或ハ又轉局ヲ希望シテ居ル者ガアツテモ、中々轉局サセナイト云フヤウナ問題ハ、全體的ニ見テ、一部ニ事故ノ起ツテ居ルコトナドモ考慮シテ、

大臣トシテハ茲ニ相當鐵道從業員ノ士氣昂揚ノ爲ニ最善ノ對策ヲ講ズル必要ガアラウト考ヘルノデアリマス、是等ノ問題ニ付テ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○八田國務大臣 御話ノ如ク鐵道ノ如キ國家的ノ重要ナル業務、而モソレガ大ナル組織ヲ以テ晝夜ヲ分タズ、二十四時間ブツ通シニ車ガ運轉サレテ居ルヤウナ所ニ於キマシテハ、一寸ノ隙ト雖モアツテハナラヌノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ從業員ノ訓練、而シテ是ガ指導的立場ニアル幹部職員ヲ初メソレノ職責ニアリマス者ハ、總テ相協力致シテ今日マデヤツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、其ノ間從業員ノ待遇問題ニ付キマシテハ、勿論其ノ見地カラ十分工夫ヲ常ニ怠ツテハ居ラヌト考ヘテ居リマス、又只今職員ノ學歷或ハ又其ノ異動ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、私ノ承知シテ居リマスル限り、十分ニ只今御話ノヤウナ點ニハ深イ考慮ヲ拂ツテ居ルト承知致シテ居リマス、一言御答ヘ申上ゲマス

○長崎政府委員 只今大臣カラ申上ゲマシタ以外ニ色々御質問ガアツタヤウデアリマスカラ御答ヘ致シマス、大阪驛ノ外装ニ付キマシテ、ミツトモナクナイヤウナ處置ヲスルコトニ決定致シテ着手中デゴザイマス、西成線、城東線ノ連絡ニ付キマシテハ目下工事中デゴザイマス、ソレカラ退職資金ノ問題デゴザイマスガ、從來ノ退職資金ニ關スル決メハ、御説ノヤウニ昭和六年以降ニ入りマシタモノニハ適用致シテ居リマセヌガ、是ト類似シマシタ退職手當ト申シマスカ、退職ニ際シテ賞與ト申シマスカ、サウ云フモノハ自分ノ便宜デ退職スル場合ニハヤツテ居リマセヌガ、公務上ノ負傷其

ノ他已ムヲ得ザル事情デ退職スル者ニ對シテハヤツテ居リマス、ソレカラ私學出身者ノ待遇デアリマスガ、是ハヤハリ其ノ人物ノ如何ニ依ルノデゴザイマシテ、曾テハ私學出ノ局長ノ居ラレタコトモゴザイマス、今日ニ於キマシテ地方ノ部長ヲ致シテ居ル者モゴザイマス、更ニ今度御協賛ヲ願ツテ居リマス豫算ノ中ニハ、現場ノ驛長ノ中カラモ部長ト同ジ程度ノ身分ニマデ學ガテヤリタイト云フ積リデ豫算ノ御願ヒヲ致シテゴザイマス、地方ノ驛長ハ學校出コロデハナイ、寧ロ現場ノ第一線ノ小學校出或ハ鐵道學校出ト云フヤウナ所カラ段々上ツテ參リマス者ガ多ウゴザイマスガ、サウ云フ者モ部長待遇位ノ地位ニ持ツテ行キタイト云フコトデ、豫算ニハ計上シテ御願ヒヲシテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、私學出ナルガ故ニ、帝大出デナイガ故ニ、待遇差別スルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ勉勵「パス」或ハ勤勉「パス」ト云フヤウナモノヲ停止シテ置クノハ可哀相デハナイカ、ソレ等ノモノモ早ク何トカシテヤラナケレバナラナイト云フ御説ハ、洵ニ之ヲ三十七万ノ從業員ガ聞キマシタナラバ、定メシ私ハ非常ニ感謝感激致スコトト存ジマスガ、是ハ何モ私共所謂幹部ト申シマスカ、サウ云フ者ノ意思ガケデ停止シタノデハナクテ、サウ云フ行爲ガ自然ニ反映シテ停止致シテ居ルノデアリマセヌガ、是モ鐵道ノ業務ノ忙シクナイ時、比較的閑散ナ場合ニハ、成ベク緩和シテヤルヤウニ致シテ居リマス、旅客ニ御迷惑ニナラナイ限りニ於テハ緩和シテヤルヤウニ考ヘテ居リマス、人事異動ガ頻繁デハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ私ハ左程ニ



モ考ヘテ居リマセヌケレドモ、外部カラ見  
マスレバ或ハサウ云フ御感シガアルカトモ  
思ハレマス、ト申シマスノハ、是ハ明確ニ  
申上ガ兼ネマスガ、大陸或ハ南方ニ人ヲ派  
遣シナケレバナラヌト云フ關係係可ナリ動  
キガゴザイマス、其ノ結果モゴザイマスノ  
デ、唯吾々ガ人事異動サセルガ爲ノ異動ト  
云フコトデ頻繁ニヤツテ居ル譯デハゴザイ  
マセヌ、是亦國運ノ發展ニ伴フ已ムヲ得ザ  
ルモノト御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、轉  
局希望、外ノ地方ニ轉職希望シテ居ル者ニ、  
中々其ノ希望ガ容レラレナイト云フ御話デ  
ゴザイマスガ、是モ其ノ場所々々ニ慣レタ  
者ガ段々少クナリマシテ、經驗者ガ非常ニ  
少クナツテ來テ居ル、サウ云フ關係上個々  
ノ希望ヲ濫リニ容レマスコトハ、却テ業務  
全體ノ運營ヲ圓滑ニ運ビ得ナイト云フ理由  
カラ、餘程差迫ツタ已ムヲ得ナイ事情ノナ  
イ限リハ、出來ルダケ同シ職務ニ止マツテ、  
此ノ經驗ヲ利用サセタイト云フ考ヘデ居リ  
マスカラ、其ノ點モ御諒承ヲ願ヒタイト思  
ヒマス

○宮澤委員長 井上君ニ御諮リシマスガ、  
アナタノ質疑ガ一番長イ、三時半カラ兩省  
ノ政府委員ガ御出席下サツテ質問スルコト  
ニナツテ居リマスカラ、其ノ際ニ通告ガゴ  
ザイマスノデ、成ベク簡單ニ願ヒマス

○井上(良)委員 承知シマシタ——其ノ次  
ニ地方鐵道補助法中改正法律案ニ付テ伺ヒ  
タイノデスガ、此ノ改正ノ要點ハ、「昭和  
十七年四月一日」ヲ「昭和二十二年四月一  
日」ニ改メルコトニナツテ居リマス、五年  
間之ヲ延長ニナツテ居ル、五年延長ノ理由  
如何、五年延長シタナラバ、補助金ヲヤラ  
ナイデモ宜イノカ、若シ將來モ補助ヲヤラ

ナケレバナラヌト云フ見透シガアレバ、五  
年ト限ル必要ハナイ、十年デモ二十年デモ  
シテ置イタラ宜イ、五年デ打切りマス、  
今度自分ノ會社ハ例ナラハセヌダラウカ  
ト云フノデ、其ノ會社ノ偉イ人ガ又鐵道省  
ニ色々泣言ヲ言ウテ、陳情運動ト云フモノ  
ガ、横ハツテ來ルコトハハツキリシテ居  
ル、是ハ官紀肅正トカ色々ノ問題ガヤカマ  
シイ時ニ、誰ガ考ヘテモ五年位見透シガ  
付クカ付カヌカト云フコトハ分ル、其ノ見  
當ガ立ツテ斯ウシテ居ルノデスカ、將來五  
年經テバ現在補助金ヲ支給シテ居ル會社ノ  
營業成績ガ非常ニ良クナツテ、將來ヤラナ  
イデモ宜イヤウニナルダラウ、ダカラ五年  
位ニシテ居ルノデアリマスカ、何カ別ニ慣  
例デモアリマセウカ、此ノ點ハ非常ニ重要  
デアリマス、ソレカラ補助金ヲ出スト云  
フノデスガ、一體鐵道省ハ地方鐵道ヲ監  
督シテ居ルノデスヨ、新シイ線路ヲ敷  
設致シマシタ場合ニ、此ノ敷設ニ對スル  
認可權ヲ鐵道省ハ持つテ居ルノデス、サウ  
スルトソコニ貨客運輸ヲヤリマシテ、此  
ノ鐵道ハ一體經營「バランス」ガ取レテ居  
ルカドウカト云フコトハ、其ノ建設屆ヲシ  
タ時ニ分ツテ居ル管デアル、鐵道省デハ收  
支ノ合ハヌ會社デモ何デモ構ハヌ、言ウテ  
來タラ許可シマスカ、サウ云フ點カラ考ヘ  
マスレバ、ソレヲ國家的ニ考ヘテ、ドウシ  
テモ此ノ會社ニ政府ハ補助ヲ出シテヤラナ  
ケレバナラヌト云フコトモアリマス、然ラ  
バ現在補助ヲ出シテ居ル會社全體ガ、國家  
的ニ非常ニ重要ナ鐵道デアルカドウカト云  
フコトヲ全體的ニ檢討シマス、ソコニ問  
題ガ澤山横ハツテ居ル、現ニ政府ガ出シテ  
居リマス補助金交付ノ地方鐵道ノ中ニハ、

實際サウ云フ重大性ノナイ會社サヘアル、  
更ニ私ガ疑問ニ思フ點ハ、鐵道ガ連帶運輸  
ノ地方鐵道ニ許シテ居ル、自分ノ所ノ會社  
ノ營業「キロ」數ハ僅カ數「キロ」シカナイ、  
此ノ數「キロ」シカナイ地方鐵道會社ガ、  
國鐵全體ニ互ツテノ連帶運輸ヲスルコトガ  
出來ル、サウスルト其ノ連帶運輸ヲ致シマ  
シタ運賃ノ計算時期ト云フモノハ、一體何  
時ニナツテ居ルカト云フト、一箇月モ二箇  
月モ後デナイカト私ハ考ヘテ居ル、其ノ一  
箇月ナリ二箇月ノ間ニ、僅カノ營業「キロ」  
數シカ持つテ居ナイ地方鐵道會社ノ國鐵全  
體ニ互ル運賃ノ金高ト云フモノハ、相當多  
額ニ上ツテ居ルト考ヘテ居リマス、其ノ間  
ノ金利ト云フモノハ相當多額ナンデスヨ、  
地方鐵道ヲ全部考ヘテ計算ヲ致シマス、  
之ニ對シテ鐵道省ノ方デハ保證金ヲ  
豫納金トシテ取ツテ居ルノデスケレドモ、  
此ノ保證金ノ豫納金額ノ總額ハドノ位ゴザ  
イマセウカ、サウシテソレト補助金ト配合  
ハシテ見ル場合、此ノ豫納金額ハ、伺ツタ  
所ニ依ルト全然利子ヲ拂ツテナイサウデア  
リマスガ、是ハドウ云フ譯デサウ云フコト  
ニナツテ居リマセウカ、サウ云フ色々ナ點  
ヲ考ヘテ見マスト、私ガ先ヅ最初ニ疑問ヲ  
起シマスノハ、補助金ヲ交付シナケレバナ  
ラヌ基本のナ割出シハドウ云フ考ヘ方ニ立  
ツテ居ルカ、ソレカラ現ニ補助金ヲ支出ス  
ル各會社ハ國家トシテドウシテモナケレバ  
ナラヌ會社デアルカ、サウシテ連帶運賃ニ  
對スル清算ノ期間ト云フモノニ對スル見透  
シデスネ、之ヲモツト線上ゲル必要ハナイ  
カト云フヤウナコトニ付テ伺ツテ置キタイ  
ト思ヒマス

○長崎政府委員 地方鐵道補助法ノ御審議  
ヲ願ツテ居ル譯デスガ、今度ノ改正法律案  
ノ内容ハ地方鐵道補助法ノ施行機關ヲ五年  
間延長スルト云フコトデアリマスガ、御承  
知ノ通りニ現在ノ地方鐵道補助法ト云フノ  
ハ昭和十二年ニ制定サレマシテ、丁度此ノ  
前モ五箇年ト云フ期限ガ付イテ居リマシテ、  
十七年ノ三月三十一日デ切レルノデゴザイ  
マス、所ガ地方鐵道ノ中ニハ尙ホ補助ヲ必  
要トシ又補助ヲスルノガ國家的見地カラ見  
マシテ極メテ必要デアルト思ハレルモノガ  
ゴザイマス、ソレデ井上君ノ仰セノ通り  
之ヲ五年トスルカ十年トスルカ二十年トス  
ルカハ、色々ナ考ヘ方ガ出來ルト思ヒマス  
ガ、目下大東亞戰爭中デモゴザイマス、  
是カラ十年後ノ見透シト云フヤウナコトモ  
中々困難デゴザイマス、先ヅ差當リ五年位  
延長致シマシテ、將來ノ情勢等モ見極メ、  
サウシテ地方鐵道補助ノコトヲ考ヘテ行ク  
ノガ先ヅ妥當デアアルマイカ、ノミナラズ  
現在ハ御承知ノヤウニ新シイ補助法ト舊法  
ノ從前ノ規定ガマダ生殘ツテ居リマス、ソ  
レガマダ丁度五箇年間生殘ルコトニナツテ  
居ルノデアリマシテ、ソレト週期ガ略、一致  
スルト云フヤウナコトモゴザイマス、  
大體五年程度デ延長ヲ願ツテ、ソレカラ先  
ノコトハ又將來考ヘテ行クト云フノガ妥當  
デアアルマイカト云フコトデ五年ト御願ヒ  
致シタ次第デリマス、ソレカラ地方鐵道ニ  
補助金ヲ交付スル根本ノ方針ハドウデア  
ルカ、ドウ云フ譯デ補助金ヲヤルノダ、地方  
鐵道ヲ許可スル際ニ既ニ此ノ鐵道ハ收支成  
立ツカ立タイカト云フコトハ分ルデハナ  
イカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、成程  
一應ノ見透シハ無論付キマス、併シナガラ  
鐵道ニ依リマシテハ國家ガ之ヲ致シマスル

ヨリハ、民間ノ資本ヲ利用致シマシテ速カニ交通ノ便ヲ開クト云フコトガ國家的ニ見テ必要ナル、ケレドモ其ノ收支ハ今後五年ナリ、十年間ハ中々成立タヌグラウト思ハレマシテモ許可スル場合ガアリマス、更ニ又其ノ當時ハ收支ガ十分償フ積リデアリマシテモ、色々ノ事情ノ變化ニ依リマシテ、殊ニ最近ノヤウニナリマスト軍需生産關係ノ工場ガ澤山出來テ、一時ニ非常ニ澤山ノ物資或ハ工員ヲ輸送シナケレバナラス、其ノ爲ニ思ハザル設備改善或ハ設備ノ擴張ヲヤラナケレバナライノデ、其ノ結果ドウモ非常ニ金ガ餘計要ツテ中々收支償ハナイト云フヤウナ場合モ起リマセウシ、或ハ又却テ逆ニ非常ニ收益ガ良クナル場合モゴザイマセウシ、要スルニ現在ノ補助ノ方針トシマシテハ鐵道ノ公益性ト云フコトヲ強ク見マシテ、國家交通ノ全體或ハ地方交通ノ見地カラ見テ其ノ鐵道ヲ維持シ、其ノ輸送力ヲ確保シテ置クコトガ必要デアアルカドウカト云フコトヲ見マシテ、補助ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ連帶運輸ノ御話デゴザイマスガ、是ハ大變細カナ問題ト申シマスカ、或ハ私ノ説明デハ御納得ガ行カナイカトモ存ジマスガ、一應申上ゲマスト、連帶運輸ノ計算ト申シマスモノハ、當月ノ分ヲ翌月ノ二十五日マデニ清算ヲ致シマシテ、サウシテ省カラ社へ、或ハ社カラ省へ拂フコトニナツテ居リマス、保證金ト云フ御話ガゴザイマシタガ、其ノ支拂ガ省ノ方デ受取勘定ノ多イ場合ニ其ノ受取勘定ノ保證トシテ三箇月分ダケ公債ナリ或ハ現金ナリデ保證金トシテ頂戴シテ置クノデアリマス、其ノ保證金ノ利子トソレカラ省デ拂フベキ金、ソレハ翌月ノ二十五日ガ清算

デゴザイマスカラ、マア一箇月乃至一箇月半遅レル、其ノ一箇月半ノ利息ノ見合計算ハドウカト云フ御話デゴザイマスガ、只今其ノ數字ヲ私ハ持つテ居リマセヌ、併シ一箇月半ノコトデモアリマスルシ、實ハ是ヨリ早く取レト申サレマシテモ、省ノ方ノ清算ノ手續ノ關係ニ急ガレマセヌ、利息ヲ損シテ居ルデハナイカト云フ仰セデモゴザイマセウガ、實ハ省デソレヲ頂戴シテモ所謂預金ト云フ手續ヲ致シマセヌト、省ノ方デハ利息ガ付キマセヌ、無利子デ日本銀行ヘ預ケテ置クト云フコトニナリマス、ソレカラ逆ニ會社カラ省ノ方ガ受取勘定ノ多イ場合モゴザイマスルノデ、サウ云フモノニハ逆ニ利息ヲ支拂ツテヤラナケレバナラスコトニナリマス、ソコデサウ云フ面倒ナ手續ヲ執ルヨリハ、大體カラ見マシテ客ハトントニナル、往ツタ客ハ復ルノガ常法デゴザイマスカラ、細カイコトヲ言ハズニ大雜把ナ計算ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

**○宮澤委員長** 次ハ田中好君ニ質問ヲ許シマス

**○田中(好)委員** 私ハ鐵道敷設法ノ改正案ニ付テ御尋ね致シタイト思フノデアリマス、先程西岡委員ガ大體尋ねラレマシテ、大東亞共榮圈ノ育成ノ任ニ當ル日本ノ國內交通ノ改革ニ付テハ、目下研究調査中デアアルト云フ鐵道大臣ノ御答辯ヲ承リマシタカラ、私ハ其ノ點ニ付テ再ビ質問スル譯デハゴザイマセヌ、唯一ツ御考ヘテ願ツテ置カナケレバナライコトハ、現在ノ敷設法ニアラザル鐵道モ、是ハドウシテモ先程御話ニナツタ如ク改メテ行ク外ハナカラウト思フノデアリマス、或ハ前ノモノハ其ノ儘ニシテ置イテ新規ヲ選ブノモノツノ方法デアリマセ

ウガ、從來ノ鐵道網ノ中デ時代ノ變遷ノ爲ニ必要性ノナクナツタモノ、或ハ路線ヲ變更スルモノナド、全國ニ相當多クアラウト思フノデアリマス、斯様ノ點ヲ特ニ今後鐵道政策ノ改訂ナドノ場合ニ御心配願ヒタイ、ソレカラ建設ノ順序ニ關シマシテモ、是モ亦時代ノ變遷ニ依リマシテ着手竣功ノ年限ヲ相當變更シナケレバナラス、變更スル方ガ、實際ニ適應スルト云フヤウナコトモアラウト思フノデアリマス、此ノ點モ御研究ヲ願ヒ、更ニ鐵道規格ノ問題ニ付キマシテモ、私ハ先程ノ大臣ノ御話ニ依リマシテ再檢討ヲ要スルノデハアルマイカ、斯様ニ思フノデアリマス、マア調査研究中デアアルト云フ御話デゴザイマスルガ、私ハ調査研究ハ結構デゴザイマスルガ、一ツ此ノ大方針ヲ御決メニナルコトデゴザイマスカラ、今アリマスル所ノ鐵道會議ノ組織、構成ヲ變更セラレマシテ、積極的ニ私ガ今申上ゲマシタ是等重要ナル點ニ付テ調査研究セシムルト云フヤウナ御方針ニ出ラレマシタナラバ、調査ノ完全ト迅速トヲ期スルノデハアルマイカ、斯様ニ思ヒマスガ、サウ云フ御考ヘハナイノデアリマセウカ、ソレヲ先ヅ一點御伺ヒ致シマス

**○八田國務大臣** 只今田中委員ノ御述ベニナリマシタコトハ、大體ニ於テ私モ御同感ニ考ヘテ居リマス、敷設法ニ付キマシテモ、又敷設法ノ豫定線ニ付キマシテモ、建設ノ順序ニ致シマシテモ、或ハ鐵道ノ總テノ規格ニ致シマシテモ、新シキ大東亞共榮圈建設ノ時代ニ副ヒマシテ再檢討致シタイト考ヘテ居リマス、而シテソレデハドウ云フ風ニシテ行クノカト言ヒマス、政府ト致シマシテ自ラ東亞共榮圈建設ノ段階、第

一段階、第二段階ト段々戰果ノ實情ニ即シマシテ、政治、經濟、文化等ガ進展シテ參リマスソレガ先ヅ見透サレナケレバナラス、是ガ根本ノ問題デアアルト思ヒマス、此ノ根本ノ觀察ト申シマスガ、計畫ト申シマスガ、ソレニ副フヤウニ東亞全體ノ交通ナルモノガ、大局的ニ、綜合的ニ、一元的ニ計畫サレナケレバナラスト思ヒマス、其ノ計畫ガ是認サレマス以上、是ノ一部ヲ成シ、而モ重要ナル部分ヲ占メマス所ノ我ガ國內ノ鐵道交通、敢テ是ハ「レール」ノ上バカリデナク、港カラ鐵道、軌條ノ上、サウシテ軌條ヲ外レマシテ其ノ目的地ニ達スルマデ、「レール」共全面的ニ之ヲ整備スル爲ニ再檢討スル必要ガアルト考ヘマシテ、今日鐵道省ニ於テモ、既ニ此ノ點ニ付テ出發シテ居ル積リデゴザイマス、其ノ詳シイコトハ今ココニ時間ガゴザイマセヌノデ申上ゲマセヌガ、全ク御話ノ通りデアリマス、之ニ關聯シテ鐵道會議ヲ改組シテ、之ニ充テテハドウカト云フ御意見ハ御尤モノ御考ヘデアアルト思ヒマスノデ、之ニ付キマシテモ、只今ノト一括致シマシテ考究致シタイト存ジマス

**○田中(好)委員** 勿論大キナ問題デゴザイマシテ、東亞共榮圈全體ノ基礎ヲ確立シタ上デ我ガ國內ノ交通政策ヲ御決メニナルノモ、是ハ適當ダト思ヒマスガ、私ハ全體ノ計畫ガ定マルマデ待つテ居ルト云フヤウナコトハ餘リ手緩イノデハアルマイカ、ソレナラバ他ノ南方ハ抛ツテ置イテ宜イノカト言フトサウデナイ、南方ノ大體ノ見透シヲ立テマシテ、我ガ國內ノ整備ヲ先ヅヤツテ行クト云フ方ガ、私ハ早く出來テ宜イノデアアルマイカ、斯様ナ考ヘテ持つテ居リマス、

ソレカラ鐵道會議ノ組織變更等ニ付キマシテ、御贊成ノ御意見ヲ得マシテ洵ニ満足スルノデアリマスガ、是ハ私ハ惡イコトヲ言フ譯デハゴザイマセヌガ、現在ノ鐵道會議ハ、所謂鐵道屋ノ元老ガ名譽職ノ地位ヲ占メルト云フヤウナ意味ニ於テ、組織セラレテ居ルヤウニ見ラレルノデアリマス、一ツ斯様ナ組織ヲ變更セラレマシテ、積極的ニ若イ者ガ自ら頭ヲ絞ツテ計畫スル、鐵道省ノ官吏ノ諸君ガ立テラレタ案ニ對シテ「イエス、ノー」ヲ決メルト云フダケノモノデナクシテ、調査會自身ガ進ンデ、ソレコソ挺身シテ調査スルト云フヤウナ方法ニ依ツテ、御方針ヲ成ベク早く御決定セラレシコトヲ私ハ御願ヒシテ置キマス、御答ヘハ要リマセヌ

○八田國務大臣 只今ノ點一寸一應申上ゲタ方宜カラウト思ヒマス、只今御話ノ通リデアルト思ヒマス、全體ノ案ガ立ツマデ待ツテ居ル譯デハゴザイマセヌ、ソレ故ニ私ハ既ニ出發シテ居ルト云フ言葉ヲ特ニ申上ゲテ居ルコトヲ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、其ノ内容ヲ申上ゲナイダケデアリマス、尙ホ鐵道會議其ノ他衆智ヲ集メテ、サウシテ此ノ全體——或ハ國鐵ナラバ國鐵ノ問題ニ對シテ適當ナル對策ヲ立テテ行クト云フコトニ付テハ、今後ニ於テモ急ラヌ積リデアリマス、既ニ出發シテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○田中(好)委員 既ニ御着手下サツテ居ルト云フコトデアリマシテ、甚ダ意ヲ強ウスル次第デゴザイマス、ドウカ成ベク早く御決定アラント切望シテ置キマス、ソレカラ次ニ御尋ネ致シタイコトハ、今回ノ此ノ改正案デゴザイマスガ、此ノ改正案ノ後

段ノ理由ニモ書イテアリマス如ク、鐵道ノ建設順序ヲ決定致シマス場合ニハ、一般交通ノ價值ヲ判斷シテ、着手又ハ竣功ノ時期ヲ定メラレルモノト思フノデアリマス、隨ヒマシテ地下資源ガアルト云ツテ、急ニ國有鐵道ヲ敷設スベキモノデハナカラウ、斯様ニ思フノデゴザイマスガ、私ノ考ヘハ違ツテ居ルデセウカ、地下資源、如何ナル資源ガアツテモ、其ノ地下資源ガアルト云フコトダケニ於テ、國有鐵道ヲ敷設スベキモノデハナイ、是ハ外ノ鐵道ガヤレバ宜イト云フヤウナ御方針デアアルノデアリマセウカ、或ハ國有鐵道デナケレバナラヌト云フ御方針デアリマセウカ

○八田國務大臣 地下資源ガアルカラ國有鐵道ヲヤラナケレバナラヌト云フコトハナイト思ヒマス、如何ナル交通機關デモ、ソコニ地下資源ガ開發サレ、國策ニ協力スルコトガ出來レバ結構デアルト思フノデアリマス、唯今回ノ場合ハ其ノ鐵道ニ於テ國有鐵道ヲ延長スルコトガ適當ダト考ヘタ部分デアルト私ハ承知致シテ居リマス

○田中(好)委員 ソコガ私非常ニ考ヘナケレバナラヌ點デハナカラウカト思フノデアリマス、地下資源ガ非常ニ必要デアルト云フ場合ナラバ、國有鐵道ヲオヤリニナツテモ宜イヤウニ思フ、併シナガラ地下資源ガアルト云フダケニ於テヤラレルト云フコトデアルト、鐵道ノ一般交通ノ方ガ閉却セラレルノデハアルマイカト斯様ニ思フノデアリマスガ、ドウ云フヤウナ標準デハ國有鐵道、是ハ然ラザル鐵道ト云フヤウナ標準ヲ御立テニナルデアアラウガト云フコトヲ御伺ヒスルノデアリマス、ソレハナゼ左

様ナコトヲ御伺ヒスルカト申シマス、今回ノ「マンガン」ノ需要ト、其ノ「マンガン」鑛ノアル所ニ達スルマデノ一般交通ノ爲ニ本線定線ヲ變更スルノデアアル、斯様ニ規定セラレテ居ル、私ハ是ガ原則デアアラウカト思フ、ソレデマダ外ニモ「マンガン」鑛ガ澤山アリマス、其ノ「マンガン」鑛ノアル附近ニ行ク豫定線ガ是レ亦澤山アルノデアリマス、斯ウ云フヤウナモノヲ選擇セラレル場合ニ、「マンガン」鑛ガアルト云フダケデ、ソレノ着手順序ヲ早くオヤリニナルカ、ヤハリ一般交通ノ一般物資モ、一般ノ人間モ見ナケレバナラヌ、ソレ等ヲ綜合シテ初メテ國有ニスルカ否ヤト云フコトヲ決メ、或ハ豫定線デモ早くアルト云フヤウニ決メルト云フ標準ガ出來ルノデハナカラウカ、斯様ニ思ヒマスカラ先程ノ御尋ネヲシタヤウナ次第デアリマス

○八田國務大臣 御話ノ如ク地下資源ガアルカラ鐵道ヲ敷設スルト云フノガ唯一ノ條件デハナイト思ヒマス、大體今回ノ提出サレタ此ノ新シイ線、是ハ政府ト申シマスガ、工業關係ノ總テト相談シタ上デ、日本ノ國內ノドノ地點ニ鐵道ヲ敷設スルコトニ依ツテ、其ノ地下資源ガ開發サレテ來ルカト云フコトヲ相談ノ上選バレタ數線ノモノデアルト思ヒマス、併シ一般的ニハ地下資源ガアルカラ其處ニ必ズ鐵道ヲ敷ク、言換ヘレバ鐵道敷設ノ目的ハ地下資源ニアルト云フコトハ絕對ニナイト思ヒマス、今回ノ問題ニ於キマシテモ、タツタ一ツ此ノ北海道ノ分ダケガ豫定線ニナイノデ新タニ追加シテ御願ヒシテ居ルノデアリマスガ、他ノ二線ハ豫定線ニアルノデアリマス、之ヲ敷設スルト云フニ過ギナイノデアリマス、要スル

ニ選ビ方ハ各方面脱合セテヤツタ、其ノ中ノ主ナ點ガ地下資源ノ開發ト書イテアルノデアリマシテ、ソレガ敷設スルコトニ依リマシテ、今豫定シナイ所ノ地下資源モアルカモ知レマセヌシ、又勿論鐵道ノ敷設サレタ以上一般ノ産業開發並ニ旅客等ノ交通ニ資スルコトハ勿論デアリマス

○田中(好)委員 ドウモ私標準ガ難カシクテ、此處デハ抽象的ナコトヲ言ウテモ仕方ガゴザイマセヌカラ止メテ置キマスガ、サウシマスト色々地下資源ガアルシ、又時局ニ必要ナ物資ガアル、ソレ等ノ所ニ豫定線ガアレバ今回選バレタ二線以外ニモ今後又ソレヲ線上ゲテ御施工ニナル御方針デアリマセウカ、今回ノ三線デモウ宜イト云フ御考ヘデアリマセウカ、同ジヤウナ程度ニアルモノナラバ、豫定線ヲ線上ゲテデモヤツテ行クト云フ方針デゴザイマセウカ

○八田國務大臣 一般ニ鐵道敷設法ノ決定サレタ時ニモ、能ク御承知デアリマセウカ、先ツ平時ニ於キマシテハ今豫定線ニ上ゲラレテ居ルモノハ其ノ地方ノ一般交通ノ便ナリ産業ノ開發トシテ豫定サレテ居ルノデアリマスガ、ソレハ何レモ地下資源ヲ持ツテ居ルト思ヒマス、今回ノハ非常時局ニ於キマシテ、戰時ニ於テ而モ此ノ十七年度カラコト一二年ヲ睨ミマシテ、特ニ此ノ線ヲ敷設スルコトガ必要デアルト云フ、物動計畫其ノ他カラ生ジマシタ結果デアリマス、デアリマスカラ是ガ何時モノ原則デハナイト思ヒマス、又事態ガ違ヒマスレバ、サウ云フ今狙ツテ居リマス特殊資源ト云フモノハ、他ヨリ又得ラレルト云フヤウナ場合モ

ハ、他ヨリ又得ラレルト云フヤウナ場合モ

アルト思ヒマスカラ、其ノ場合ニハ又違ツテ參ルト思ヒマス、是ハ現在今日ニ於キマシテ左様ニ考ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス

○田中(好)委員 私ノ聽キ様ガ惡カツタカ知レマセヌガ、今回提案サレテ居リマス三線ト同ジヤウナ豫定線ガアリトスレバ、是ハヤハリ明年度、或ハ明後年度ニ於テ線上施工セラレルノデアリマセウカ

○八田國務大臣 ソレハ其ノ時代ノ物動計畫ト申シタラ少シ強過キマスケレドモ、國家ガ要望シテ居リマス——是ハ地下資源トハ限ラヌノデアリマスガ、假ニ之ヲ地下資源トシマス、ソレト睨合セテ決マルコトト思ヒマス、デアリマスカラ他ノ線路ニモサウ云フモノハ起ツテ來ルト思ヒマス

○宮澤委員 田中君、マダアリマスカ  
○田中(好)委員 マダアリマス  
○宮澤委員 田中君及ビ續イテノ質問ノ二三ノ方ニ一寸御相談デゴザイマスガ、三時半頃カラ鐵道ト逓信ト兩當局者ノ御出席ヲ願ツテ、所謂一般ノ交通問題ニ付テノ質問ヲ取計ヒラシテ居ルノデアリマシテ、逓信省ノ大臣以下ガ待機ノ姿勢デオイデニナルノデアリマスガ、三時半ト云フノハモウ既ニ二三分經過致シマシタ、尙ホ鐵道専門ノ質疑ガ若宮君、熊谷君兩君ガ殘ツテ居リマスノデ、成ベク簡潔ニ一ツ御質問願ヒマシテ、聯合ノ質疑ノ方ニ早ク移リタイト思ヒマス、其ノ御注意デ御進行願ヒタイト思ヒマス

○田中(好)委員 ソレハ無理デスガ、マア併シ出來ルダケヤツテ見マセウ——私ハ次ニ地方鐵道ノ補助ノコトニ付テ御伺ヒマシス、地方鐵道ノ發達ヲ助成スル爲ニ補助政

策ヲ執ラレテ、非常ニ地方鐵道ガ交通上ノ效果ヲ擧ゲテ居ルト云フコトハ喜ブベキコトデアリマス、今回ノ補助年限ノ延長デ更ニ一層ノ效果ヲ擧ゲラウト豫想シマスガ、先程モ井上君ガ質問サレマシタヤウニ、此ノ五箇年間補助年限ヲ延長スルト云フコトニ依ツテ、地方鐵道ガ獨立シテ行ケルヤウナモノニナルデアラウカ、ナラナイモノナラバ此ノ補助制度ヲ永續性ノモノニシタラ宜イデヤナイカ、私モ井上君ト同感デアリマス、ソレニ對シマシテ次官ノ御話ハ、五年間ガ適當ダト思ツタカラ五年間ニシタノダト云フ、五年間ダケノ話デゴザイマスガ、是ハドウデスカ、私共ノ豫想スル所ニ依ルト、五箇年間獨立シテ行クヤウナ地方鐵道ハナイト思フノデアリマスガ、サウナレバ永續性ノモノニ寧ロ御直シニナル方ガ適當デナイカ、斯様ニ考ヘマス——急イデヤレト云フ御話デスカ、續ケサマニヤリマスカラドウゾ一ツ御答ヘ願ヒタウ存ジマスガ、今頂戴シマシタ、此ノ表ニ依リマスルト、何年間補助ヲ貰ツテモ獨立ノ見込ナイヤウナ地方鐵道ガアリマス、是等ハ建設當時ニ計畫ノ誤リガアツタ、或ハ施工ニ無理ガアツタ、或ハ建設後ニマヅイコトヲヤツテ獨立出來ナイ、或ハ又建設後、交通事情ノ變化ニ依ツテマヅイ結果ヲ見ク、斯ウ云フヤウナモノガアリマスルガ、私ハ斯ウ云フヤウナ地方鐵道ニ對シテハ補助ヲドンドンヤウテ行クヨリハ、寧ロ之ヲ政府自ラガ買收セラレテ、サウシテソレヲ整理シテ行クト云フコトガ國家ノ大局カラ見テ得デアルノデハナイダラウカ、斯様ニ考ヘマ

スガ、此ノ點ニ對シテドウ云フヤウナ御意見デアラウカ、ソレカラ第三點トシテ御伺

ヒ致シテ置キタイコトハ、今申上ゲマシタヤウナマヅイ地方鐵道デナク、相當國有鐵道ニ相估抗シテ行クヤウナ地方鐵道ガアルノデアリマス、是等ニ對シマシテハ此ノ際補助ヲ廢止セラレテ、サウシテ其ノ鐵道ヲ政府ニ於テ買收セラレルカ、或ハ又借上ゲラレルカ、詰リソレ等ハ相當ノ價值アル地方鐵道デアリマスカラ、是等ヲ國有化スル所ノ御計畫或ハ御方針ガナイノデアアルカト云フ點ヲ御伺ヒ致シマス

○長崎政府委員 先程私ガ五年間ガ適當ト認メタカラト申上ゲタヤウニ御取リノヤウデゴザイマスガ、私ノ申上ゲマシタノハ、ソレハ五年或ハ永續ト云フコトモ色々考ヘラレラデアラウガ、併シ又五年經テバ補助ハ要ラナクナルノダト云フ意味デハナイノデアリマシテ、或ハ現在ノ補助鐵道ニ於キマシテモ、五年デ補助ガ切レルト云フヤウナモノモアリマセウシ、十年掛カルモノモアルカモ存ジマセヌガ、併シ補助ノ方法或ハ補助ノ目指ス所ト云フヤウナモノハ、其ノ時々ノ國策或ハ經濟情勢、色々ナコトデ之ヲ變更スルコトガ適當デハナイカト思ヒマス、ソコデ現在ノ補助法ヲ繼續サセル期間ト云フモノヲ考ヘテ見マスルニ、今日ノヤウナ日本ノ國運、國情ガ大キナ轉換期ニ直面シテ居ル際ニハ、先ヅ五年位ヲ一期トシテ置クコトガ適當デハナイダラウカ、餘リ長クシテ置クノハ寧ロ適當デハナイノデヤナイカト云フ意味デゴザイマス、且ツ田中君ノ御承知ノヤウニ、現在ハ舊法ト新法ト兩方補助法ガアル譯デゴザイマスガ、舊法ノ補助期限ノ命脈ノ絶エマスル時モ丁度五年ト云フコトニナツテ居リマシテ、略、一

致シテ居ル、其ノ時ニ新法ト舊法ト併セテ補助ノ方法其ノ他ニ付テ檢討スルノニモ都合ガ好イカラ、差當リ五年ガ適當デアル、斯様ニ申上ゲタノデアリマシテ、補助鐵道ガ五年經テバナクナルト云フヤウナ見透シカラ出發シタモノデナイト云フコトヲ重ネテ申上ゲマス、ソレカラ將來育成ノ見込ガナイモノガアルデヤナイカ、サウ云フモノヲ何時マデ補助スルト言ツテモ仕方ガナイノデ、サウ云フモノハ寧ロ買收或ハ借上ゲラシタ方ガ宜イノデヤナイカト云フ問題ト、モウ一ツハ國有鐵道ト同一ノ價值ガアルヤウナモノニ付テハ、是レ亦國有化スルヤウナコトヲ考ヘタラ宜イデヤナイカト云フ御話デゴザイマスガ、地方鐵道ノ買收ニ關シマシテハ、ソレノ研究調査モ續ケテ居リマス

〔委員長退席、増永委員長代理着席〕  
國ノ財政ノ情勢、殊ニ公債政策ノ方ト能ク睨ミ合セテ、サウ云フコトハ實現シテ行キタイト思ツテ居リマス、今年度ニ於テ買收ヲ考ヘナカツタノハ、今議會ニ於キマシテハ、戰爭ニ直接關聯ノアル事項ヲ提案スルト云フコトニ相成ツテ居リマス關係上、地方鐵道ノ買收ニ付テハ、差當リ非常ニ緊切ナルモノガナイト認メテ差控ヘタノデゴザイマス、併シ從來トテモサウデゴザイマスガ、將來ニ於テモ地方鐵道ノ國有化ト云フコトニ付テハ十分ニ研究ヲ續ケテ、只今申上ゲマシタヤウニ公債政策等ト睨ミ合セテ、是ガ實現ヲ圖ツテ行キタイト思ヒマス、ソレカラ成績ノ惡イ育成ノ見込ノナイモノニ付テ云々ト云フ御話ガゴザイマシタガ、只今育成ノ見込ガナイヤウニ見エマシテモ、ソレハ色々ナ事情ガゴザイマス、或ハ斯ウ云フ貨客ノ非常ニ殺到シテ居ル

時ニ見込ガナイモノハ、永久ニ見込ガナイノデヤナイカ、而モ公益上優良ナル線路ナラバ、早ク買収シタラ宜イデヤナイカト云フ點モ御尤モデアリマス、ソレ等ニ付テモ固ヨリ、地方鐵道國有化ト云フ見地カラ研究シテ善處致シタイト考ヘマス、更ニ借上ゲト云フ御話ガゴザイマシタガ、借上ゲハ成程一ツノ方法デハゴザイマスガ、借上ゲニ付キマシテハ可ナリ事務的ナ取扱等ニ付テ煩瑣ナ點ガゴザイマス、是レ亦田中サン御承知ノヤウニ、富士身延鐵道ナドノ借上ゲト云フヤウナ過去ノ經驗ニ徴シマスルニ、可ナリ手續上煩瑣ナ點ガゴザイマスノデ、ソレ等ノ點モ能ク睨ミ合セテ、買収ニスベキカ借上ゲニスベキカト云フコトヲ決定致シテ參リタイト思ヒマス

○田中(好)委員 地方鐵道ハ其ノ位ニシテ置キマス、次ニ交通調整ノ問題デ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、昨年東京市ヲ中心トスル交通調整ガ出來マシテ、洵ニ結構デアルト思フノデアリマス、是ガ濟ミマシタ爲ニ、是ハ噂デアリマスカラ分リマセスガ、更ニ大阪ニ對シテ交通調整ヲ行フノダト云フヤウナ噂ガアリマスノデ、果シテサウ云フヤウナ御計畫ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、私ハ都市ヲ中心トシテ郊外ニ放射シテ居ルヤウナ交通機關ハ實ハ交通調整ノ上ニ於テ餘リ重キヲ置クベキモノデハナイ、斯様ナ確信ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是モ或ハ環狀線ヲ連絡スル線ガアル場合ハ別デス、併シナガラサウ云フモノガナクシテ、都心カラ郊外ニ放射セラレテ居ルヤウナ交通機關ハ、何モ慌テテ之ヲ調整スル必要ガナイヤウニ思ツテ居ル、サウ云フモノヲヤルノハ何モ調整ノ

必要ガナイニモ拘ラズ、調整ヲヤリタイガ爲ニ調整スルノダト云フコトニ相成ルデハナカラウカ、斯様ナ考ヘヲ以チマシテ、大阪市ノ交通調整ヲ非常ニ重キヲ置イテ居ルノデアリマスガ、果シテ新聞紙報道等ノ如ク實行セラレルカドウカト云フコトヲ伺ツテ置キマス

○長崎政府委員 大阪ノ交通調整ト云フ問題ニ付キマシテハ、御説ノヤウナ御意見モアラウト存ジマス、之ニ付キマシテハ田中サン御述ベノ通り、新聞等ニ風説ガ傳ハツテ居ルト云フコトニモ鑑ミマシテ、急速ニ交通調整ヲナスベキモノカ、又果シテナスベキ必要ガアルト致シマスナラバ、如何ナル方法デヤルカト云フコトヲ決定シテ見ナケレバナラス、左様ニ考ヘテ居リマス、只今ノ所大阪ノ交通調整ヲヤルト決定モ致シテ居リマセスシ、ヤラナイトモ決定致シテ居リマセス

○田中(好)委員 マダ御決定ニナラナケレバ、是ハ鐵道省ニ調整課ガ出來テ、仕事ガナイカラ大阪ニデモヤツテヤラウト云フ考ヘデヤラレテハ困ルノデアリマスカラ、調整スルダケノ實際ノ價值ガアルカドウカト云フコトヲ再吟味セラレマシテ、ヤルカヤラスカト云フコトヲ御決定アラシコトヲ切望致シマス、ソレカラ交通調整ノ場合ニ於ケル「バス」ノ補償ノ問題デアリマスガ、是ハ大臣モ御承知ノコトダラウト思ヒマス、即チ交通調整ノ爲ニ「バス」ヲ買収スル場合ニ、其ノ判定價格ヲ如何ナル標準ニ依ルカト云フ問題デアリマス、是ハ先年交通事業調整法案或ハ帝都高速度交通營團法案ト云フモノガ出タ場合ニ非常ニ論議セラレタ、サウシテ政府ハ相當ノ答辯セラレテ居ル、所ガ此

ノ間ノ交通調整委員會デハ、政府委員デアツタ人ガサウ云フコトヲ言フタ覺エガナイヤウナ顔ヲシテ答辯セラレテ、而モ吾々衆議院カラ出テ居リマス委員ハ御注意申上ゲタニモ拘ラズ、前言ヲ裏切ツテ評價セラレタコトハ私頗ル遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、此ノコトヲ議會ノ席上ニ於テ言ウタ言ハヌノ争ヒヲシテ居リマシタガ、私ハ速記録ヲ見テ、此處ニ持ツテ來マシタカラ、一應朗讀ヲシテ大臣ノ御參考ニ供シ、吾々ノ主張ガ誤ツテ居ラナカツタト云フコトヲ申上ゲタイノデアリマス、衆議院ノ委員會ニ於ケル所ノ政府委員ノ答辯トシマシテ「自動車ニ付テハ、偶、自動車營業廢止補償ノ規定モ參考ニハナリマセウ、併シナガラサウ云フ規定ニ一概ニ依ルト云フ譯デハナイノデアリマシテ、唯サウ云フモノガ可ナリノ參考ニナリマセウガ、ソレノ其ノ時ノ事情、諸般ノ關係ヲ能ク見マシテ判斷スルノデアリマス」斯ウ云フヤウナ答辯ヲサレテ居ルノデアリマス

(増永委員長代理退席 委員長着席)

又貴族院ノ委員會ニ於キマシテハ、斯ウ云フヤウナ答辯ヲセラレテ居ル、「如何ナル「バス」買収ノ基準ガアルカト云フ御尋ハ、御承知ノヤウニ「ガソリン」規正ガ強化サレマシテ「バス」ノ營業狀態ト云フモノハ非常ニ不自然ナ形ニナツテ居リマスノデ、此ノ不自然ナル狀態ニ基ク收益等ヲノミ基本ニ致シマスト云フコトハ此ノ際酷デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ「バス」ノ補償……買収ノ關係ト致シマシテハ省營「バス」ヲヤリマシテ、ソレノ並行線ガ補償ヲ受ケル場合トカ、色々ノ據ルベキ一ツノ筋ガアルノデアリマスガ、特ニ「バス」ノ常態デナイト云フコトモ考慮ニ入レマシテ、此ノ買収ノ基準ヲ定ムベキモノダト考ヘテ居リマス」斯ウ云フ風ニ貴族院デ答辯セラレテ居ル、サウシテ此ノ間ノ東京市ノ交通調整ニ於テハ、議會ニ於テ吾々ニ聲明セラレタ所ノ其ノ聲明ヲ裏切ツテ、調整委員會ガ評議シテ決定シテシマツタ、私ハ濟ンダコトハ申シマセス、唯併シナガラ此處デ言明セラレタコトハ重シク貫ハナケレバ私共ハ非常ニ困ルト思ヒマス、私ガ御尋ネセントスル所ハ、濟ンダコトハ仕方ガゴザイマセスカラ、今後地方ノ交通調整ヲナサル場合ニ於キマシテハ、ヤハリ先般ノ交通調整委員會ト同ジヤウナ方法デヤルカドウカ、曩ノ議會ニ於テ聲明セラレタヤウニ、鐵道省ノ省營自動車ヲ動かカス場合ノ買収補償規定ノ標準ニ依ラナイト云フ御意見デア

○長崎政府委員 交通調整ノ問題ニ關聯致シマシテ、自動車買収ノ場合ノ買収價格算定ノ基準ノ御話デアリマスガ、其ノ前ニ先程私ノ申上ゲタ大阪ノ交通調整ニ關シテ、或ハ田中サンデゴザイマスカラ誤解ハナイト存ジマスガ、私ノ申シマシタコトハ、大阪地方ハ交通調整ノ區域ニハ入ツテ居リマス、併シ其ノ調整ヲ近ク實行スルカドウカト云フコトハ、マダ決マツテ居ナイト云フノデアリマシテ、交通調整ノ區域内ニアルト云フコトハ間違ヒアリマセス、其ノ事ヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ只今ノ自動車ノ買収ノコトデゴザイマスガ、私ハ鐵道省ノ政府委員トシテ前ニ申シタコトヲドウノ斯ウノト、責任逃レヲ申上ゲルト云フコトハ

致シマセヌ、又田中サンハ過去ハ問ハナイト云フ御話デゴザイマスカラ、將來ノコトダケヲ申上ゲマス、自動車買収ノ賠償價格算定ニ付キマシテハ、是ハ色々複雑シタ困難ナ問題デゴザイマス、只今省デ自動車ノ運營ヲ開始致シマス際ニ、廢業致シマスル者ニ對スル廢止補償ノ定メハゴザイマスルガ、是ハ一ツノ參考ニナリ、是等ヲ本トシテ考ヘテ行クベキモノデアラウトハ存ジマスルケレドモ、是ノミヲ到ル處ノ場合ニ適用スルコトガ妥當アルカドウカト云フコトニ付テハ、多少研究ヲ要スル問題デハナイカト考ヘマス、御説ノ通りニ地方鐵道ノ買収或ハ其ノ他ニ付テハチヤントシタ法律ノ規定ナリナンナリガアリマシテ、サウ云フモノニ據ルコトガ出來ルト同ジヤウニ、荷モ交通調整ヲ考ヘル際ニ自動車ノ買収或ハ補償ト云フ問題ガ起ルノデアルカラシテ、之ニ對スル何カ一定ノ方針ナリ、基準ナリヲ作ツテ置カナケレバナラスデハナイカ、又ソレガ非常ニ交通調整ヲ促進サセル上ニ於テ便宜アルト云フコトハ能ク諒承致シマス、隨ヒマシテ御意見ニ從ツテ將來ニ向ツテ早イ時期ニ自動車買収ノ基準ヲ明確ニ決メルコトガ出來ルカドウカハ何レニ致シマシテモ、ソレノ參考ニナルモノ、サウ云フモノヲ早ク發見シ得ルヤウニ致シテ參リタイト存ジマス

○田中(好)委員 ドウゾ一ツソレデハ規定ヲ拵ヘラレルカ相當ノ制度ヲ立テラレマシテ、地方業者ヲ脅カサナイヤウナヤリ方ヲ執ツテ戴キタイト云フコトヲ切望致シマシテ私ノ質問ハ止メマス

○宮澤委員長 若宮貞夫君

○若宮委員 委員會ノ時間ノ御都合ヲ隨分先刻カラ御話ノヤウデアリマスカラ、私ハ

若干質問シタカツタガ此ノ際質問ヲ省キマス、唯資料ヲ頂戴致シタイト思ヒマス、ソレハ主ナル諸外國ノ鐵道ノ旅客、貨物運賃ヲ素人ガ比較シテ見ラレルヤウナ資料ガアレバソレヲ頂戴致シタイ、ソレハ若シ印刷シタモノデモアレバ頂戴スレバ宜イガ、拔書デモシテ戴クト云フ場合ニ、旅客ノ色々ナ料金ノ比較ハ極ク簡單ニ素人デモ出來マシガ、貨物ノ方ハ例ノ國策運賃トカ交通ノ關係ヤナンカデ我ガ國ノ安イモノト外國ノ高イモノ、或ハ我ガ國ノ高イモノト向フノ安イモノト比較スルトヘンナ喰違ヒガ出來マスカラ、成ルベク各國デ二三點デ宜イノデスガ、主テ代表トナルベキ貨物ヲ比較シテ、細カイ數ハ要ラナイノデアリマスカラ、概念ヲ知ラシテ戴キタイ、ソレカラモウ一ツ政府委員ニ伺ツテ置キマスガ、南洋諸地方ニ鐵道ガ若干アルヤウデスガ、其ノ軌幅ハドウナツテ居リマスカ

○八田國務大臣 細カナ數字ハ申上ゲラレナイカ知レマセスガ、極ク概略ヲ申上ゲマスト、「フィリピン」蘭印ハ大體日本ト同ジ三「フィート」六「インチ」デアリマス、佛印、「マレー」タイ「ハ」一「メートル」ゲージ」デゴザイマス、日本ト三寸バカリ違フ譯デス、濠洲ハ世界的ニ有名ナ非常ナ「ゲージ」ノ混亂シタ所デ、全體デ濠洲ハ四万五千「キロメートル」位ノ鐵道ヲ持つテ居リマス、日本ノ二倍位アリマスガ、是ハ其ノ半分ガ三「フィート」六「インチ」デアリマス、残りノ半分ガ所謂廣軌デ、或ルモノハ四「フィート」八「インチ」半、或ルモノハ五「フィート」三「インチ」ソレデアリマスカラ大體一万三千「マイル」デスカラ約二万「キロ」ト云フモノガ日本ト同ジ「ゲージ」デ

アリマス、其ノ他半分位デアリマスカラ一万「キロ」ツツガ五「フィート」三「インチ」四「フィート」八「インチ」半、斯ウ云フ風ニ違ツテ居リマス、ソレハ「ステート」デ違ツテ居リマス、其ノ外尙ホ「メートル」ゲージ」デハアリマセスガ、「二フィート」六「インチ」三「フィート」ト云フノガアリマス

○若宮委員 次ニ聯合ノ時ニ時間ガアツタラ又御許シテ願フトシテ、此ノ際ハ是デ控ヘテ置キマス

○宮澤委員長 ソレデハ熊谷五右衛門君

○熊谷(五)委員 私ハ越美北線ノコトデ一寸御伺ヒシタイ、越美北線ハ先年敷設サレルコトニナリマシテ、モウ路盤ハ出來テ橋梁ノ材料、「レール」枕木等モ隨分福井ノ近クニ持ツテ來テ居ツタノデアリマスガ、此ノ事變ニ付テ「レール」枕木ハ外ニ持ツテ行カレタヤウデアリマシテ、非常ニ沿線ノ住民ハ憂ヘテ居ツタノデアリマス、然ルニ此ノ度大野町カラ朝日ト云フ所ニ、其ノ附近ニ重要ナ鑛物ガ出來ルト云フノデ、其處ニ敷設サレル、ト云フ、之ヲ敷設サレルナラバ此ノ福井、大野間ノ鐵道モ敷設サレテ其ノ材料等モ御運ビニナルデアラウカト非常ニ喜ンデ居リマシタ、段々調べタ所ガ彼處ニ越前電鐵ト云フノガアルノデ、ソレヲ利用スルト云フ御話デアリマス、越前電鐵ト云フノハ固ヨリ私設デアリマスカラ勾配モ惡イシ、又非常ニ屈曲モアリマシテ、大量ノ輸送ハ到底出來ナイモノト素人考ヘニハ思ツテ居ルノデスガ、併シ御調査ノ結果ガ當分越前電鐵ヲ利用スルト云フコトニナツテ居ルサウデアリマス、然ルニ此ノ電鐵ノ大野三番ニハ非常ニ貨物ガ停滞シテ居ルト云フコトアルシ、又朝日ノ奥ノ鑛

山ノ口ニモ掘出シタ鑛物ガ澤山積ンデアルト云フヤウナコトデ、私設鐵道デハ到底運輸ハ十分デナイト私共考ヘルノデアリマスガ、御調査ノ結果又材料ノ關係ニモ依ルコトデアリマセウガ、鑛物ノ産額ガ多クナツテモ私設鐵道ヲ利用センナラスト云フ思召デアリマスカ、福井、大野間ニハ森林モアリマシテ、海軍ノ用材等ガ配當サレテ來テモ運輸ノ方法ガ付カズシテ之ヲ出スコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、私設鐵道デ運輸ガ出來ナイ場合ニハ、大野、福井間ノ鐵道ヲ敷設サレテ、此ノ沿線ノ者ニ幸福ヲ與ヘテヤル、ト云フ思召ガアルカナイカ、出來ルナラバ沿線ノ者ガ哀願ヲシ陳情ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、ドウゾ宜シク一ツ御願ヒシタイト思フノデアリマス、其ノ思召ハドンナ所ニアリマスカ伺ヒタイ

○小林(業)政府委員 只今越美北線ノ御話デゴザイマシタガ、要點ハ大野カラ先キ、今回工事ヲ始メマス大野カラ手前ハドウスルカト云フ御質問ノヤウニ思ヒマス、福井、大野間ハ御説ノ通り土工工事ガ出來上ツテ居リマスガ、資材ノ關係上マダ軌道敷設ノ運ビニナツテ居ラナイノデアリマス、大野カラ先キニ工事ガ掛カリマシテ、重要資源ヲ開發致シ、其ノ貨物ガ大野マデ到着シマス時期ニハ出來得ルナラバ大野、福井間ハ勿論敷設致シマシテ、一貫輸送ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、今熊谷サンノ御心配ニナツタコトハ本當ノ非常手段デアリマシテ、萬一資材ノ關係其ノ他デ出來ナカツタ時ニドウスルカト云フコトハ誰シモ考ヘルノデアリマシテ、吾々サウ云フ計畫ヲ立テテ諱デハナイノデアリマス、其ノ點御諒承願ヒタイ

○若宮委員 委員會ノ時間ノ御都合ヲ隨分先刻カラ御話ノヤウデアリマスカラ、私ハ

ト思ヒマス

○宮澤委員長 ソレデハ逓信當局モ御出席  
デアリマスカラ、鐵道、逓信兩省ノ關聯シ  
タ質問ヲ是カラ許スコトニ致シマス——米  
窪君

○米窪委員 一寸郵便貯金ノコトデ極ク簡  
單ニ御尋ネ致シマス、郵便貯金ガ年々殖エ  
テ行クノハ洵ニ結構ナコトデゴザイマシテ、  
此ノ表ニ依リマスルト昭和十六年ニ八十二  
億圓ト云フ數字ガ現ハレテ居ル、更ニ戰時  
下ノ公債吸收ノ財源トシテ此ノ際モツト澤  
山ナ貯金ヲ國民ノ間ニ獎勵シヨウト云フノ  
ガ此ノ法案ノ趣旨デアリマスガ、之ニ付テ  
主稅局長ニ一寸御尋ネシタイノデスガ、從來  
郵便貯金或ハ簡易保險——簡易保險ハマ厚  
生省ノ方デスガ、勸誘ハ郵便局ガヤツテ居  
リマス、サウシテ郵便年金斯ウ云ツタ各種  
ナ、貯金ニ類スル點ガ各郵便局ニ最低ノ責  
任額ト云フモノヲ持タシテオイデニナル、  
是ハ獎勵ノ一ツノ方法トシテサウ云フモノ  
ヲ持タシテ置ク、或ハ逓信公報ニ依ツテ此  
ノ局ハ是ダケ成績ガ擧ツタ、他ノ局ハ是ダ  
ケダト云フヤウナコトヲ發表サレルト、勢  
ヒ成績ノ惡イ局ガ是ハ發奮スルコトニナリ  
洵ニ結構デアリマス、私ハ此ノ質問ヲ申上  
ゲル趣旨ハ其ノ副作用ヲ懼レル、是ハ民間  
ノ保險ナドト比ベルト或ハ比喩ガ不穩當カ  
モ知レマセヌガ、民間ノ生命保險ナドノ勸  
誘募集ハ各社ガ競争スル爲ニ非常ナ弊害ガ  
起ツタ、之ニ類似シタ弊害ガ起レバ折角ノ  
貯金獎勵ガ一方ニ於テサウ云フ弊害ガ現ハ  
レテ來ル、故ニ民心ニ與ヘル影響及ビ從業  
員ニ與ヘル影響、是ガ相當憂慮スベキデア  
ルト思ヒマスガ、之ニ付テサウ云フ最低ノ  
責任額ヲ持タシテ居ルモノデアルカ、或ハ

今後ハ持タセル積リデアルカ、若シ持タセ  
ルト云フナラバサウ云フ副作用ノ起ル心配  
ハ別ニナイカ、此ノ點ヲ貯金局長ニ伺ヒマ  
ス

○伊勢谷政府委員 貯金局ト致シマシテ  
ハ、各郵便局ニ責任額ヲ割當テテ持タセテ  
ハ居ラヌノデアリマス、唯何分ニモ、貯蓄  
ノ増強ヲ必要ト致シテ居リマスル時局デゴ  
ザイマスルカラ、郵便貯金トシテ、例ヘバ  
百七十億貯蓄ノ目標ノ中デ、ドレダケヲ受  
持テト云フコトヲ受持タサレル譯デアリマ  
ス、隨テ其ノ目標ヲ各逓信局ニ通達スルノ  
デアリマス、其ノ結果トシマシテ、逓信局  
ニ依ツテヤリ方ガ違フヤウデアリマスガ、  
郵便局ニモ其ノ目標ヲ示スト云フコトハア  
ルヤウデゴザイマス、御承知ノヤウニ、郵  
便貯金ハ在來主トシテ——御指摘ノヤウニ、  
今日デハ九十三億ニナツテ居リマス——一  
般公衆ノ方カラ窓口ヘ持ツテ來ル貯金ト  
云フモノガ、其ノ殆ト大半ト申シマスルヨリ  
モ、大部分ヲ占メテ居ル狀況デゴザイマス、  
デアリマスルカラ一般民衆ニ向ツテ、競争シ  
テ勸誘スルト云フ風ナ事例ハ、郵便貯金ト  
シテハ少カツタと思フノデアリマス、併シ  
一層積極的ニ貯金ヲ吸收シナケレバナラヌ  
ト云フコトハ極メテ最近ノコトデゴザイマ  
スカラ、定額郵便貯金、積立貯金ト云フ二  
種類ノ貯金ヲ創設致シマシタ、是ハ積極的  
ニ公衆ニ向ツテ勸誘スル貯金デゴザイマス、  
隨ヒマシテ、將來只今御指摘ノヤウナコト  
ガ起ル虞レガアルコトニナリマスレバ、勿  
論サウ云フ弊害ハ矯メナケレバナラヌト思  
ヒマス、左様ナ點ニ付キマシテハ十分注意  
致シテ參リマス

○米窪委員 モウ一點伺ヒマス、是ハ大臣

デモ、次官デモ、電務局長ガオイデニナレ  
バ電務局長デモ宜シウゴザイマスガ、郵便  
法ニ直接關係ハナイノデアリマスガ、勿論  
間接ニハ關係ガアリマス、今日ハ敵機ノ空  
襲ハ皇軍ノオ蔭デ未ダニアリマセヌガ、持  
久戰デアツテ、此ノ戰爭ガ長引ケバ、當然  
相當ノモノガアルト云フコトハ、是ハ覺悟  
シナケレバナラヌコトデアリマス、敵ノ飛行  
機ニ依ツテ空襲サレマシテ——主トシテ私  
電信電話ノ關係デ御尋ネスルノデスガ、電  
信局、或ハ電話局ガ破壊サレテ、機能ガ停  
止サレルコトハ當然豫想シナケレバナリマ  
セス、此ノ場合ニ、民間ノ方面ニ於ケル電  
信電話ガ通ジナイコトハ、是ハ忍ブベキデ  
アルガ、軍及ビ官、或ハ民間ノ場合デモ通  
信事務、新聞社、或ハ其ノ他ノ通信、斯ウ  
云フモノハドウシテモ直チニ應急處置ヲシ  
ナケレバナラヌ、私聞ク所ニ依ルト、或ル  
郵便局ハ、逓信省ノ御方針ヲ受ケテヤツテ  
居ルノカ、或ハ自發的デアアルカ知ラヌガ、  
相當大キナ別荘ヲ借りテ、何時デモ空襲ヲ  
受ケタ時ニハ其處ニ交換局ヲ移セル、或ハ  
電信局ヲ移セルト云フコトヲ、不十分ナガ  
ラ心掛ケテ居ル甚ダ心掛ケノ良イ局モアリ  
マス、是ガ若シ自發的ノ考ヘデアルトシテ  
モ、逓信御當局ハ直チニ全國的ニ、此ノ場  
合ハ斯ウシロト云フ案ヲ御立テニナルベキ  
ガ本當ダト思ヒマスガ、此ノ點ハサウ云フ  
御計畫ガアルノデアアルカドウカト云フコト  
ヲ御尋ネ致シマス

○中村(純)政府委員 只今ノ御質問ノ事柄  
ニ付キマシテハ、全國ニ隨分澤山郵便局ヤ  
電信局ガアルノデゴザイマスガ、主要ナル  
電信局、電話局ニ付キマシテハ、是マデニ  
相當ノ措置ヲ講ジツツアルノデアリマス、  
例ヘテ見マスレバ、東京ノ中央電信局デア  
リマスルトカハ、其ノ地下室ヘ持ツテ行キ  
マシテ、非常ノ場合ニ於キマスル、全部ノ  
回線ハ收容スルコトハ出來マセヌケレドモ、  
特ニ重要ト思ハレマスル回線ヲ切換ヘテ收  
容スル設備ヲ致シテ居リマス、或ハ又自動  
車ニ特別ノ裝置ヲ致シマシテ、之ニ主要ナル  
電話回線ヲ收容スル、或ハ主要ナル電信  
回線ヲ收容スルト云フ設備モ致シテ居リマ  
ス、併シナガラ何分ニモマダソレデ十分ト  
ハ申上ゲ兼ネマス、ソコデ來年度ノ豫算ニ、  
防空關係ノ設備ノ強化ノ爲ニ、約九百万圓  
程度ノ豫算ヲ計上致シマシテ、更ニ之ヲ擴  
充強化致シタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第  
デアリマス

○米窪委員 敵ノ飛行機及ビ潜航艇ヲ誘導  
スルヤウナコトニナルト云フ心配デ、ラジ  
オノ波長ヲ統一サレテ居ルコトハ洵ニ結  
構デアリマスガ、此ノ點デモウ一ツ關聯シ  
テ御聽キシタイノハ、日本ノ近海ヲ航行中  
ノ全船舶ニ對シテ、其ノ「ボジション」ヲ確認  
スル爲ニ「ラジオ・ビーコン」ガアルノデ、  
其處カラ一定ノ波長ヲ放送シテ居リマス、  
從來サウデアリマシタ、現在ソレハ當然、  
「ラジオ」ノ波長ヲ統一スル位デアルカラ、  
船舶ノ便宜ノ爲ニ、二ツ或ハ三ツノ局カラ  
同時ニ違ツタ波長ヲ出シテ、ソレニ依ツテ  
船ノ「ボジション」ヲ確認スルト云フアノ方  
法ハ御停止ニナツテ居ルト思ヒマスガ、此  
ノ點ハドウサレテ居ルカ現狀ヲ伺ヒマス

○中村(純)政府委員 一般ノ「ラジオ」ニ付  
キマシテハ、既ニ御承知ノ通りノ狀況デア  
リマス、御質問ノ「ラジオ・ビーコン」ノ如キ  
モノモ、ヤハリ同様ノ性質ヲ持ツテ居リ、  
同様ノ危険性ヲ持ツテ居ルコトハ勿論デア

リマス、之ニ付キマシテハ、停止致シテ居  
リマスルモノモアリマスルシ、又電波ヲ極  
力弱メマシテ、必要ナル最少限度ニ統制ヲ  
致シテ居ル様ナリナツテ居リマス

○米窪委員 最低度ニ弱クシテモ、現ニ第  
一雲海丸ノ如キ、アア云フ悲シムベキ事件  
ガ起ツテ居リマス、アノ場合ニ、敵ノ潛航  
艇ガ之ヲ利用シタトハ必ズシモ推測ハ出來  
マセヌガ、是ハ電力ヲ極度ニ弱クシテモ尙  
且放送シナケレバナラナイト云フ必要モ、  
勿論アルデセウ、併シ是ハ御止メニナツタ  
方ガ宜イト思ヒマスガ、御止メニナレナイ  
理由ガ何方アルノデゴザイマセウカ

○中村(純)政府委員 勿論其ノ電波ヲ出ス  
コトニ依ル危險性ハ十分アルノデアリマス  
ガ、場所ニ依ツテハ、ソレガナイト通航ノ  
危險ノ感ゼラレル場所モアリマス、已ムヲ  
得ザル限度ニ於テヤツテ居ル次第デアリマ  
ス

○米窪委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○宮澤委員長 次ハ高橋義次君ニ質問ヲ許  
シマスガ、定席ニオ見えニナラヌヤウデス  
カラ、ソレデハ次ノ田中好君ニ質疑ヲ許シ  
マス——田中好君

○田中(好)委員 私ハ一點質問シタラ宜イ  
ノデアリマス、ソレハ交通行政ノ統一ノ問  
題デアリマシテ、是ハ私年來ノ主張デ、今  
更ニガ必要ヲ云々スル必要モナイノデアリ  
マスガ、何代カノ鐵道大臣ニ此ノ意見ヲ申  
上ゲマシテ、其ノ實行ヲ迫ツタノデアリマ  
スガ、一向埒ガ明カナイ、是ハ中々大キイ  
問題デアリマスカラ無理ハナイト思ヒマス  
ガ、今日ハ逡信大臣ニ御出デテ願ヒマシテ、  
兩大臣ノ御意見——御決心ヲ聽クコトヲ得  
タイト思フノデゴザイマス、從來ノ鐵道大

臣ノ御答辯ニ依リマスルト、オ前ノ言フコ  
トハ尤モダ、趣旨ニハ賛成ダガ、是ハ中々  
實行スルニ困難デアルカラ、マア考ヘテ見  
ヨウト云フヤウナ答辯モアレバ、行政改革  
ノ問題ト同時ニ是非ヤツテ見ル決心デア  
ル、ソレマデハ交通ニ關係スル各省ノ連絡  
會議デモ開イテ、一ツ交通行政ノ統一ニ努  
メテ見ヨウト云フヤウナ御答辯ヲ得タ場合モ  
アルシ、又行政機構ノ改革マデ、全然待ツ  
テ呉レ、ドウモ交通事務ヲ管掌シテ居ル遞  
信、鐵道、内務ノ此ノ三省ヲ併合スルト云  
フヤウナコトハ是ハ容易デヤナイカラ待ツ  
テ呉レト云フヤウナ色々ナ謂ハバ其ノ場適  
レノ答辯ヲ得テ今日マデ參ツテ來テ居ルノ  
デアリマス、勿論眞面目ナ大臣ノ時ニハ連絡  
會議ヲ御開キニナツタヤウニ聽イテ居リマ  
スガ、效果ハナイ、唯連絡會議ヲ一回カ二回  
ヤツテ、其ノ次ハ何時ノ間ニカ又消エテ無ク  
ナツテシマツテ居ルト云フヤウナ状態デア  
リマシテ、私共頗ル遺憾ニ存ズルノデアリマス、  
斯様ナ今申上ゲマシタヤウナ答辯ヲ得マシ  
テモ、議會後ニ於テ然ラバ熱心ニ調査研究  
ヲシテ居ラレルカト云フト、一向部下ニモ  
御話ニナツテ居ナイヤウナ有様デ、私共國  
家ノ爲ニ頗ル遺憾ニ思フノデアリマス、所  
ガ此ノ間ノ豫算總會ニ於キマシテ、企畫院  
總裁ハ行政機構ノ改革ハ、世間ヲ混亂セシ  
ムルカラ見合ハセル積リデアルト云フヤウ  
ナ答辯ヲナサツタ如ク新聞デ私ハ拜聽シテ  
居ルノデアリマス、是ハ速記録ヲ見テ居リ  
マセヌカラドウカ分リマセヌガ、左様ナ企  
畫院總裁ノ御意見ノヤウニ拜聽致シマス、  
併シナガラ、成程戰爭中世間ヲ混亂紛着セ  
シムルト云フコトハ、是ハ出來ルコトナラ  
バ、避ケルコトガ宜イコトハ決ツテ居リマ

ス、併シナガラ尙クモ此ノ大東亞共榮圈ヲ  
育成スルト云フ大キナ任務ヲ持ツテ居ル日  
本ノ國內ニ於キマシテハ、何ヲ措イテモ先  
ニ私ハ統一シタ交通政策ヲ樹立セラレマシ  
テ、サウシテ滑カナル交通ガ行ハレルト云  
フヤウナ政策ヲ執ルコトガ喫緊ノ要務デア  
ラウト思フノデアリマス、左様ナ指導權ヲ  
持ツテ居ル帝國ガ碌ナ交通政策モ持タズシ  
テ他國ヲ「リード」スルト云フコトハ出來ツ  
コハナイ、ドウシマシテモ我が國內ニ於テ  
完全ナル交通政策ヲ樹立シナケレバナラ  
ス、之ヲ又實現シナケレバナラヌ、然ルニ此  
ノ戰爭シテ居ル、此ノ東亞ノ指導權ヲ得テ  
居ルト云フ日本ニ於ケル所ノ交通狀況ハド  
ウカト申シマスルト、ドウモ船舶、港灣ノ  
關係ニ付テ見マシテモ必ズシモ一致シテ居  
ナイ、船ノ足ノ深イノガ出來テ居ル、所ガ  
港灣ノ水深ハ舊態依然トシテ淺クサレテ居  
ル、或ハ棧橋ハアル、棧橋ハアルガ大キナ  
船ハ其ノ棧橋ヲ利用スルトハ出來ナイ、  
又岸壁ガアリマシテモ、進歩シタ船舶ト岸  
壁トノ歩調ガ取レテ居ナイ、船舶ト港灣ト  
ニ付キマシテモ今申述ベルヤウナ不一致ヲ  
來シテ居ルノデアリマス、又港灣自體ニ付  
テ見マシテモ、港灣ノ設備ト、港灣ヲ利用  
スル所謂港灣勢力圈内ニ於ケル所ノ地域ト  
ノ、鐵道トカ道路トカノ現狀ヲ見テミマシ  
テモ、是モ一致致シテ居リマセヌ、又鐵道  
ト道路ト關シマシテモ必ズシモ一致シテ行  
ハレテ居ラナイ、停車場ガアリマシテモ、  
道路ガ伴ツテ居ナイト云フヤウナ事柄ガ各  
所ニアル、又飛行場ト鐵道若クハ道路トノ  
關係ヲ見マシテモ、是亦ウマク連絡シテ居  
リマセヌ、斯様ノ状態デアリマシテ、如何  
ニシテ此ノ日本ノ産業ヲ進展セシムルコト

ガ出來得ルカドウカト云フコトヲ考ヘマス  
ト、ドウ致シマシテモ此ノ際立派ナル交通  
政策ヲ樹立シテ、サウシテ交通政策其ノモ  
ノヲ掌ル所ノ交通省ヲ設置シテ、ソコガ一  
元的ニ交通ヲ支配シテ行クト云フヤウナ政  
策ヲ採ラナケレバナラヌト考ヘルノデアリ  
マスガ、此ノ點ニ關シマシテドウカ國民ガ  
安心スルヤウナ兩大臣ノ御意見ヲ承リタイ  
ノデアリマス、初メ申述ベマシタ如ク、考  
ヘルノデアアル、行政機構ノ改革マデ待ツ  
デアルト云フヤウナ御返事ハ、私聽キタク  
ナイノデゴザイマスカラ、ドウカ一ツ本當  
ニ國家ノ爲ニドウシタラ宜イノデアルト云  
フ御決心ノ程ヲ御明示願ヘレバ結構ダト思  
ヒマス

○寺島國務大臣 我が國ノ交通行政ヲ統一  
シテ圓滑ナル實施ヲ見ナケレバナラヌト云  
フコトハ御説ノ通りデアリマスルガ、之ニ  
對シマシテ今日政府ハ此ノ大東亞戰爭ニ勝  
チ抜クト云フコトニ重點ヲ置イテ居リマシ  
テ、此ノ爲ニハ機構ノ改革モ必要ナモノハ  
ヤラナケレバナラヌガ、之ニ因ハレルコト  
ハナク、人ヲ以テ、官民一致シテ總テノ政  
策ヲ行ツテ行キタイト云フコトニ重點ヲ置  
イテ居リマス、就キマシテハ御説ノ如ク交  
通行政ヲ統一スル爲ニ、一ツノ交通省ヲ作  
ツタ方ガ宜イデヤナイカト云フ議論ハ官民  
共ニアリマシテ、政府ニ於テモ考究ヲ致シ  
テ居リマスガ、只今ニ於キマシテハ交通省  
ヲ新タニ設置シテヤルト云フコトハ考ヘテ  
居リマセヌ、併シナガラ之ニ對シテ如何ニ  
スルコトガ最善デアルカ、今御指摘ノ如キ  
船舶、港灣、又鐵道、ソレレノ連絡ト云  
フコトニ付キマシテハ、必要ナルモノハソ  
レニ考究ヲ加ヘテ行カウト云フ方針デゴザ



イマシテ、交通省設置問題ト云フコトハ研究ヲ抛擲シタノデハゴザイマセヌガ、只今其ノ方向ニ進シテハ居リマセヌ、此ノ點トウツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ交通ニ付キマシテ連絡會議ト云フコトハ每週一回ツツ原則トシテ行ツテ居リマシタガ、今日ニ於キマシテ其ノ結果ガドウ云フモノニ現ハレタカト云フト、御説ノ通り歸一シタル所ニ行ツテ居ナイモノガ多イト存ジマスルガ、逐次此ノ點ハ私共閣僚ト致シマシテ、遞信、鐵道兩大臣ノ間デ協議ヲ進メテ、圓滿ナル統一ヲ圖ルコトニ努力シテ居ル次第デアリマス、以上御答ヘ申上ゲマス

○八田國務大臣 田中サンノ交通行政並ニ交通政策ト云フト付テノ御質問ニ對シマシテ、只今遞信大臣ヨリ御答ヘガゴザイマシタガ、鐵道大臣ト致シマシテモ同ジコトニ考ヘテ居リマス、ソシテ鐵道省トシテ申上ゲマスレバ、鐵道省ノ關係致シテ居リマスル範圍ニ於キマシテノ交通行政ト云フ問題ハ多年色々案ガ立テラレマシテ、鐵道省ニモ獻言サレテ參ツタモノガ多々アルノデアリマス、而シテソレ等ハ多ク、何ト申シマスカ唯行政其ノモノヲ一貫シ——是ハ遞信省ト鐵道省ダケノ關係デハゴザイマセヌデ、内務省詰リ道路、港灣、鐵道或ハ自動車、總テサウ云フ國內ノ一般交通ニ關スルモノニ對シマシテ、唯行政ヲ横ニ貫イテ、サウシテソレガ行政機構ノ改革デアルト云フガ如キ考ヘヲ持ツテ居ル案モ隨分過去ニアツタト思フノデアリマス、併シナガラ鐵道ト致シマシテハ、寧ロ縦ニ海カラ港ヲ經テ行ク、サウシテ其ノ陸ニ上ツタ物ガ「レール」ニ載ル、「レール」カラ外レマシテモ、更ニ是ハ小運送ヲ通ジテ目的地ニ達シ

マス、言換ヘレバ、物或ハ人ノ移動ノ出發點カラ終點マデ是ガ一貫サレテ、最モ有效ニ施設ガ整備サレルト云フトコトノ方ニ實ハ重點ヲ置イテ居ルノデアリマス、行政其ノモノヨリモ運營、運用其ノモノニ重キヲ置イテ居ルト云フトコトヲ特ニ申上ゲタイト思ヒマス、殊ニ大東亞共榮圈ト云フモノガ今日吾々國民ノ前ニ展開致シテ參リマス場合ニ於テハ、過去ニ於テ色々考ヘラレマシタモノモ、餘程茲ニ於テ新シイ眼ヲ以テ見ナケレバナラスト考ヘマス、斯ウ云フ風ニ見マスル時ニ、大陸ト我が國トノ問題、或ハ大洋ト我が國トノ間ニ於キマシテ、施設其ノモノヲ改善スルコトノ方ガ、國內ニ於ケル行政其ノモノノ改善ヨリモ尙ホ重大デアルト云フトコトヲ痛感致シテ居リマスルノデ、鐵道省ニ於キマシテモ、省内限リデハアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ色々考ヘテ居リマス、其ノ中ニ只今田中サンノ御述ベニナリマシタル御趣旨ニ副フモノガ相當アルト考ヘルノデアリマス、併シナガラ是ハ運營ニ重點ヲ置イテ居ルノデアリマシテ、行政機構ニ重點ヲ置イテ居ナイノデゴザイマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○宮澤委員長 宜シウゴザイマス  
○田中(好)委員 宜シウゴザイマス  
○増永委員 一寸關聯シテ質問致シタイノデスガ……  
○宮澤委員長 ソレデハ増永君  
○増永委員 只今交通省ト申シマスカ、其ノ問題ニ對シテ田中委員カラ遞信大臣、鐵道大臣ノ御所見ヲ承リマシタ、勿論只今ノ大東亞戰爭ヲヤツテ居リマス場合ニ、戰ニ勝テ抜クト云フトコトガ、我が政府ノ重大ナル問題デアルトハ私モ能ク承知シテ居

リマス、隨ヒマシテ船舶、鐵道、港灣、或ハ陸上ノ機關ト云フヤウナモノガ或ハ遞信省ニ、或ハ鐵道省ニ、或ハ内務省ニ區々ニアルト云フトコトハ、是ハ行政上大變不都合デアアル、斯ウ云フ風ナ點ハ從來トモ長イ間論ゼラレテ居リマシタコトハ私ガ申スマデモナイコトデアリマス、併シ今日ノヤウニ大東亞戰爭ヲヤリマシテ、尙ホ今後大東亞共榮圈ノ確立ト云フトコトニナリマス、ソコニ餘程考ヘ方ヲ變ヘテ行カナケレバナラスノデハナイカト實ハ私モ考ヘテ居リマス、先ヅ船舶ノ問題ニ致シマシテモ、事變前ノ南洋方面ニ於ケル英米佛等ノ船舶カラ申シマシテモ、先達テ遞信大臣ノ御話ニ依レバ、二千万噸以上ノ船舶ガアル、ソレニ加ヘテ北歐、滿洲、「ソ」聯或ハ北支方面ノ船舶ヲ加ヘルトカ云フトコトニナリマス、船舶行政カラ申シマシテモ、是ハ大變ナ問題ニナルノデハナイカト思フ、又鐵道ニ致シマシテモ從來ノヤウナ國內ニ於ケル經濟其ノ他ノ交通ト云フヤウナ點カラデナク、東亞共榮圈全體ノ南洋、南方ニ於ケル資源ヲ北方ノ溫帶地方ニ向ケル、我が國民ノ獨特ノ科學技術ノ進歩ニ俟ツ地域ニ物資ヲ持ツテ行ク、又勞力ノ點カラ申シマシテモ、同ジ職工ニシテモソレダケノ頭ノ進歩シタ我が國民ヲ之ニ使フト云フヤウナコトデ、詰リ國土計畫——

東亞共榮圈全體ニ於ケル國土計畫、或ハ産業立地計畫ト云フヤウナコトカラ考ヘテ見マシテ、此ノ交通ト云フトコトガ、サウ云フ産業方面、或ハ軍事方面ハ勿論、色々ナ方面ニ非常ニ重大ナ關係ヲ持ツテ來ララウト思ヒマス、隨テ獨リ鐵道、遞信ト云フ問題デナクシテ、内閣ニ於テ、東亞共榮圈內ニ於ケル國土計畫、産業立地、或ハ其ノ他

ノ交通ト云フトコトカラ、交通審議會ト云フヤウナ大キナ機關ヲ軍事其ノ他凡ル方面カラ考ヘナケレバナラス問題デヤナイカト思フ、勿論只今御話ノヤウニ、戰ヒ抜ク爲メノ目下ノ狀態デスカラ、物ヲ迅速ニ確實ニ運搬シテ、此ノ戰爭完遂ノ目的ニ努力ヲ拂フト云フトコトガ刻下ノ急務デアルトハ勿論デアリマスガ、私ノ考ヘトシテハセメテ陸上ダケデモ、鐵道ヲ引込マナケレバナラスヤウナ港灣ダケハ、是ハ鐵道省ガオヤリニナツタ宜クハナイカ、小サイ船舶トカ何トカガ着ク小サイ港灣ハ從來通り内務省デオヤリニナツテ差支ヘナイ、併シナガラサウ云フ東亞共榮圈內ニ於ケル南方或ハ北支方面ニ於ケル物資ヲ運ブ船方相當ニ着ク、而シテ工場地帯ニ運ブ爲ニ鐵道ヲ引込マナケレバナラスト云フ港灣ダケハ、セメテ鐵道省デオヤリニナツタ方ガ總テノ計畫ガ迅速ニ行ク、ドウモ今マデ港灣ハ内務省、鐵道ハ鐵道省、船舶ハ遞信省ト云フヤウナコトデ、凡ル點ニ於テ不都合ヲ感ジテ居ルコトハ現實ノ問題デアアル、恐ラク私ハ遞信大臣モ鐵道大臣モ其ノ點ニ於テハ非常ニ御苦心ダラウト思フ、セメテ港灣ダケハ鐵道省デヤル、相當優秀ナ人ガオアリデアリマスカラ、サウ云フ鐵道ヲ引込マナケレバナラスヤウナ港灣ダケデモ、是ハ行政機構ノ改革デアナク、何かノ都合ヒデモ宜イデヤナイカト思ヒマス、或ル程度ノ機構ノ改革ハ已ムヲ得ヌデセウガ、サウ云フモノダケヲ鐵道省デオヤリニナル、遞信省ト鐵道省ノ兩大臣ガ話しヒナレバ、問題ハ決ツテ來ル、少クトモ大戰爭目的完遂ノ點カラ言ツテモ、企畫院總裁ガ行政機構ノ不變ヲ仰シヤラレタサウデスガ、ソレハ成程斯ウ云

三三三

際ニ人心ノ動搖ヲ來スコトハ避ケナケレバナラス、少クトモ戰爭目的の完遂ノ爲ニ迅速ニヤルト云フ上カラ、兩大臣ノ御話ノ如ク、ソレニハ軍部或ハ商工省其ノ他ノ産業立地ト云フ大キナ計畫カラ大體ノ計畫ガ決マツテ、サウシテ運輸ノ實績ヲ船舶、港灣ト云フヤウニシテ行カレコトガ、私ハ目下ノ我ガ國ノ急務デハナイカト考ヘルノデアリマス、其ノ點ニ對スル兩大臣ノ御意見ハ如何デゴザイマスカ、御伺ヒ致シマス

**○八田國務大臣** 増永君ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマス、要スルニ大東亞建設ノ大事業カラ見マシテ、國ノ港、ソレト鐵道トノ關係等ニ付キマシテ、之ヲ最モ簡易化シ、效率ヲ擧ゲルヤウニスベキコトノ必要ナコトハ御説ノ通りダト思ヒマス、鐵道省ニ於キマシテ私ガ考ヘテ居リマスコトハ、先程モ申上ゲマシタガ、先ヅ大東亞戰爭開始以後ノ此ノ戰果、情勢、眼ノ前ニ展開シツツアリマスル共榮國ノ建設、此ノ點カラ全局的ニ見マシテ、全體ノ廣域ノ交通全體ニ對シ如何ニ對策ヲ樹テ行クカト云フコトハ、是ハ政府内閣ノ全體決セラレレル問題ト思ヒマス、其ノ大原則ニ從ヒマシテ、鐵道省トシテハ其ノ所管ニ關スル限リニ於キマシテ、最善ノ工夫ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ鐵道ト港ト云フ關係ニ付キマシテハ、今後ニ於テ大陸カラ來ル物、或ハ大洋洋カラ來ル物ヲ下ノ地點ニ於テドウ云フ風ニ陸揚スベキガ適當デアルカト云フ其ノ接續地點ハ、自ラ其ノ大局カラ樹テラレタ交通國策カラ決メラレルト思ヒマス、隨ヒマシテ其ノ港灣ガ國家トシテ最モ效果的ニ其ノ機能ヲ發揮シマスヤウニ、場所或ハ其ノ貨物ノ質、量ト云フヤウナモノカラ、何處デ港ヲ一緒ニヤルト云フヤウナコ

トガ決マルノデハナイカト私ハ想像シテ居ルノデアリマス、只今ノ増永君ノ御尋ネニ對シマシテ直接答ヘニナリマセヌガ、此ノ程度デ御諒承願ヒタイト思ヒマス

**○増永委員** 私ノ質問シタノハ少シ行政機關ノ改革ト云フヤウナコトニモ互リマシタガ、今御話ノヤウニ、南方資源ガ其ノ種類ニ依ツテ、或ハ日本内地其ノ中デモ關東、關西或ハ九州、物ニ依ツテハ朝鮮ノ北ノ方デアルトカ、動力、電力、石炭或ハ工業用水ト云フヤウナ點ヲ日本ノ斯ウ云フ圈内ニ——日本及ビ朝鮮或ハ南滿洲トカ北支ト云フヤウナ色々ナ方面カラ、軍事、産業方面デ港灣、工場地帯ト云フモノガ決ツテ、大キナ計畫ノ下ニ、ドウ云フモノガ何處ニ來ル、隨テ何處ニ港ヲ造ルト云フヤウナコトハ、是ハ鐵道大臣御説ノ通りト思ヒマスガ、私ノ申上ゲタノハ、サウ云フ大キナ計畫デ決ツタ一ツノ交通網ニ對シテ、船舶、海上輸送ト陸上輸送ト成ベク現實ニ即スルヤウニ、效率ヲ良クスル爲ニ寧ろ陸上設備ハ全部鐵道省ガ持チ、海上運輸ハ通信省デ持ツト云フヤウニシ、サウシテ鐵道ヲ引込ムベキヤウナ港灣ノ設備ハ鐵道省デ一併ニ併セテヤラレル御考ヘハナイカ、斯ウ云フ點ヲ御尋ネシタ譯デアリマス、色々ナコトニ關聯シテ御答辯ガムヅカシイカトモ思ヒマシタガ、若シ承ルコトガ出來レバト思ツテ伺ツタ次第デアリマス

**○八田國務大臣** 御話ノ如キ場合モアルカト思ヒマス、ソレハ其ノ場所ト、其ノ通過スル所ノ貨客ノ性質ト申シマスカ、サウ云フコトカラサウ云フ場所モ將來起ルト私ハ豫想致シマス、併シソレ等ノコトハ先程申シタ通り、先ヅ其ノ地點ガ撰バレタ後ニ自然決定サルベキモノデ、過去ノアレニ私ハ

捉ハレル必要ガナイト思フ點ハ御質問ノ趣旨ト違ツテ居ラスト考ヘルノデアリマス

**○宮澤委員長** 一ノ瀨君

**○一ノ瀨委員** 私ハ一點ダケ御尋ネ致シタイト思ヒマス、電話ノコトデゴザイマスガ、一万足ラズノ町村内ニ局ガ二ツアル爲ニ、通話上非常ニ支障ヲ來ス場合ガ多イノデアリマス、例ヘバ隣リニ掛ケルノニ市外電話デ掛ケナケレバナラスヤウナ場合ガアル、サウ云フノハ全國ニモ多クアラウト思ヒマスガ、是ハ交換局ヲ統一スル譯ニハ行カヌモノデセウカ

**○中村(純)政府委員** 電話ノ設備ノ關係カラ申シマス、或ル局デ交換ノ事務ヲ致シテ居リマシテ、其處ニ收容致スベキ加入者ノ分布狀態等ニ依リマシテ、自ラ一定ノ基準ト云フカ、標準ガアリマシテ——加入者ガ多イ場合、少イ場合共ニ其ノ分布狀態ニ依リマシテ、何處ニ交換局ヲ置クガ宜イカト云フ、先ヅ技術的ナ標準ガ自ラ出テ參ルノデアリマス、ソレデ餘リ廣汎ナル地域ニ互ツテ之ヲ一ツノ交換局ニ致シマス場合ハ設備上非常ニ不經濟ニナル場合ガ往々ニシテアリマス爲ニ、二ツニ分ケマシテ、ソコヲ市外線デ連絡スル、是ガ其ノ地域全般ニ互ツテ加入者ガ密集シテ居リマシテ、且ツ兩點間ノ通話ガ非常ニ頻繁デアルト云フヤウナ場合ニハ、是ハ又一ツニスルト云フコトモ考ヘ得ルノデアリマス

ソレト反對ノヤウナ場合ニハヤハリ二ツニシテ置ク方ガ適當デアナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

**○一ノ瀨委員** 此ノ例ハ佐賀縣ノ久原ト楠久ノコトデゴザイマスガ、久原ハ御承知ノ通り近頃造船業ガ非常ニ盛ンデアリ、又楠久ハ漁港デアツテ、魚介ノ集散ガ非常ニ多イ

所デアリマス、サウシテ電話ノ通話モ頻繁デアリマスガ、サウ云フ風デハ非常ニ通話上困ルノデ、ソコヲ一ツノ局ニ纏メルコトハ出來ナイデアラウカト云フノガ私ノ御尋ネノ趣意デアリマス

**○中村(純)政府委員** 只今御指摘ニナリマシタ場所ニ付キマシテハ、實ハ此處デ的確ナ御返答ヲ申上ゲ兼ネルノデアリマス、能ク調査ヲ致シタイト考ヘマス、併シソレハ必ズシモ一ツニ統一シナクテモ兩地間ノ市外地通話ニ關シマス設備等ヲ改善スルコトニ依リマシテ、狀況ニ依リマシテハ一ツデアル場合ニ略、近イヤウナヤリ方モ考ヘ得ル場合モアリマス、方法ガ色々アル譯デアリマス、併シ何分ニモ今日ハ御承知ノ如ク資材、物資等ガ非常ニ窮迫致シテ居リマスノデ、中々理想通りニハ總テノコトガ參リ兼ねテ居ルノデアリマス、只今ノ御話ノ地點ニ付キマシテハ、更ニ研究ヲ致シテ見タイト考ヘマス

**○宮澤委員長** 尙ホ質疑ノ届出ガ井上良次君、高橋義次君ノ二名ゴザイマスガ、各自席ヲ保ツテ居ラレマセヌカラ、質問ヲ拋棄サレタモノト認メマス、爾カ致シマスルト質問ハ是デ大體終了致シマシタ、政務調査會ノ同意等モアリマスル關係上、代議士會ニ懸ケテ、明日ハ成ベク午後一時カラ此處ニ再開シテ討論ニ入りタイト思ツテ居リマス、本日ノ本會議ニ於テ小形船舶乘組員手帳法案ガ本委員會ニ併託サレマシタノデ、成ベク郵便法中改正法律案外三件ハ明日採決シテ本會議ニ上程シ、新シク小形船舶乘組員手帳法案ノ審議ニ移リタイト思ツテ居リマス、尙ホ詳細ハ公報ヲ以テ御通知致シマスガ、大體其ノ方針ニ御諒解ヲ願ツテ置キマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時五十二分散會